

教育政策課

課長 小林 伸一

事務事業評価票

事務事業名	社会教育事務
-------	--------

会計名	一般会計
予算中事業名	社会教育事務費

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
「学都松本」に向け、不易を貫き、変わらない大切なことを継続する地道な活動を広げるとともに、目指すまちの姿 ①学び続けるまち ②共に学ぶまち ③次代に引き継ぐまちを、市民とともに実現することを目指します。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

① まつもと市民生きいき活動 この活動は、いつの時代にあっても変わることのない、今まで大切にされてきたことを、市民一人ひとりが自ら目標を定めて地道に取り組む活動です。市民の活動事例の収集・紹介、フォーラムの開催等により周知を図るもの 活動指標:周知回数(回)
② 学都松本推進事業 学都松本の推進を図るための協議会を設置し、教育事業の周知及び学びについて考える学都松本フォーラムの開催等について協議し、教育部及び関係部局との連携のうえ実施するもの 活動指標:参加者(人)

＜現状に対する認識＞

① 「まつもと市民生きいき活動」をより広く市民周知を図るため、こども部が進める「こどもスマイル運動」と連携が必要。
② 「学都松本推進事業」の推進には、9月のフォーラムだけでなく、平成28年度に試行的に立ち上げたfacebookの本格的な運用を進めるなど、官民協働による年間を通じた取組みが必要。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	広報まつもと掲載回数					
目標値	6	6	6	6	6	
実績値	6					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)	学都松本フォーラム参加者数					
目標値	2,750	2,800	2,850	2,900	2,950	
実績値	2,577					
達成度	93.7%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,588				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,588				
② 人件費(千円)	4,614	人工	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6			
嘱託	0				
合計コスト①+②	6,202				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	教育文化センター管理
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	教育文化センター管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
教育文化センターでの各種事業の実施により生涯学習の推進に寄与するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>1 プラネタリウム関係事業 天文機器を使用しての天文講座やプラネタリウム投映、科学展示室の管理や親子科学工作教室を開催する。</p> <p>2 自然科学関係講座 科学工作教室の開催</p> <p>3 歴史・民俗関係講座 旧山辺学校改修工事 わら細工と昔の遊び道具作り教室、道祖神・文化財めぐり、探古会(古文書解説)</p> <p>4 パソコン関係講座 ワード、エクセル、パワーポイント、ムービーメーカー講座の開催</p> <p>5 視聴覚関係事業 親子映画会等の開催</p> <p>6 教文学習専門委員会 専門委員会を開催し、市内小学校5年生と中学1年生が実施している教文学習の事業内容の検討するため、8つの部会を構成し検討会等を実施する。</p>

＜現状に対する認識＞
「宇宙と科学」に特化した施設として再整備を進めるに際し、現在実施している事業の継続と新規事業を検討していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	プラネタリウム事業参加者数				
目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
実績値	12,445				
達成度	83.0%				
② 成果指標(指標名)	教育文化センター各種講座受講者数				
目標値	1,500	1,540	1,580	1,620	1,660
実績値	1,465				
達成度	97.7%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	56,675					
国・県	4,104					
利用者負担金	3,191					
その他						
一般財源	49,380					
② 人件費(千円)	47,224	人工	人工	人工	人工	
正規	29,991	3.9				
嘱託	14,193	4.98				
非常勤	3,040	1				
合計コスト①+②	103,899					
前年度比	—					

学校教育課

課長 麻田 仁郎

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	美ヶ原少年自然の家管理
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	美ヶ原少年自然の家管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
自然との関わりや集団生活を通じて、青少年の健全な心身発達を図る(キャンプ、交流会、研修会等)		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
(1)小学校5学年キャンプでの宿泊利用 (2)一般団体への貸出 (3)施設の維持管理

＜現状に対する認識＞
9月以降の利用が少ないため、自然学習施設として、公民館や地区団体での利用を呼びかけていきたい。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
目標値	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360
実績値	2,648				
達成度	78.8%				
② 成果指標(指標名)	施設利用率				
目標値	46.4	46.4	46.4	46.4	46.4
実績値	41.5				
達成度	89.4%				

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	3,156									
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,156									
② 人件費(千円)	3,619	人工		人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1								
嘱託	2,850	1								
合計コスト①+②	6,775									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	教職員住宅管理
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	教職員住宅管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

教職員住宅の維持管理を適正に執行することで、教職員の住環境の充実を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 教職員住宅の維持・補修
2 老朽化した教員住宅の解体 3棟
3 空き家となった敷地の維持管理

＜現状に対する認識＞

老朽化の激しい住宅が多く、入居のある住宅に限られているのが現状。比較的新しい住宅については、補修・改修を行い、入居者を増やす必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価		B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	入居戸数(戸)					
目標値	90	90	90	90	90	
実績値	69					
達成度	76.7%					
② 成果指標(指標名)	入居率(%)					
目標値	36.7	50	50	50	50	
実績値	31.5					
達成度	85.8%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	20,641				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,641				
② 人件費(千円)	3,076	人工	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	23,717				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	信州まつもとこどもキャンプ事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備		
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	信州まつもとこどもキャンプ事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
原発事故避難者を本市で保養のため受け入れるもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

福島第一原子力発電所の事故に伴い、避難指示区域から避難を余儀なくされている飯館村の小中学生の保養と市民との交流を行うもの。

期 間:平成28年12月27日(火)～29日(木)
 内 容:丸ノ内中学生との交流、ラーラ松本での遊泳等
 飯館村参加人数:16名(内小学生12名、中学生3名、随行者1名)

<現状に対する認識>

避難指示区域の解除も鑑み、交流の方向性を検討していく。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	対象人数					
	目標値	30				
	実績値	16				
	達成度	53.3%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	273				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	273			
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
	正規	769	0.1		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	1,042				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	トライやるエコスクール事業 (小学校)
-------	------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	トライやるエコスクール事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
各学校で農作物の栽培・飼育活動・地域文化の学習等に取り組み、豊かな人間性を培う活動を行った。また、地域指導者を活用することにより特色ある事業を展開し、地域と交流を深める活動も行った。さらに、環境教育としてリサイクル活動やみどりのカーテン設置等を行った。 【活動事例】 ・地域招聘事業(地域の歴史・文化財等の学習・伝統文化体験学習・進路学習等) ・農業・栽培体験学習(スクールファーム、1人一鉢づくり等) ・福祉施設訪問等の地域福祉交流やボランティア活動等 ・温暖化対策体験活動(緑のカーテン効果検証、校舎内緑化活動等) ・エコ活動(リサイクル活動、ゴミの分別活動、堆肥づくり等) ・小中学校環境教育支援事業協力団体との活動
ほか

＜現状に対する認識＞
より地域との連携を深め、各学校で特色ある活動や環境教育に取り組めるよう努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	実施校数				
目標値	28	28	28	28	28
実績値	28				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	8,002				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,002				
② 人件費(千円)	77	人工	人工	人工	人工
正規	77	0.01			
嘱託	0				
合計コスト①+②	8,079				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	要保護・準要保護児童就学援助事業(小学校)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み			○確かな学力が身につく学校環境の整備	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	要保護・準要保護児童就学援助事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
就学が困難な児童が等しく教育を受けられるよう、必要な援助を行うもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
学校教育法第19条に基づき、経済的な理由によって就学が困難な児童が等しく教育を受けられるよう、保護者に対して教育費の一部を援助する。学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の援助を実施。
認定者数(H28年度) ・1,641人(全児童数:12,734人、12.8%)

<現状に対する認識>
就学援助費を支給することにより、経済的理由によって就学が困難な児童についても、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	125,389				
国・県	166				
利用者負担金					
その他					
一般財源	125,223				
② 人件費(千円)	3,076	人工	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	128,465				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	特別支援教育就学奨励事業(小学校)
会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育就学奨励費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
特別支援学級に就学する、児童の保護者の経済的負担の軽減を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
発達障害、特別な支援を必要とする児童生徒のために設置された特別支援学級に就学する、児童の保護者の経済的負担を軽減するために必要な援助を行う。 学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の一部の援助を実施。

＜現状に対する認識＞
特別支援学級へ就学する児童生徒について、特殊児童にかんがみ、負担能力の程度に応じて援助をすることにより、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	6,587				
国・県	3,060				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	3,527				
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	6,972				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	遠距離児童通学 (小学校)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み			○確かな学力が身につく学校環境の整備	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	遠距離児童通学費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
徒歩・自転車通学が困難な児童のために通学費を扶助するため		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

遠距離(原則4km以上)により徒歩・自転車通学が困難な児童のために、バス、タクシーの借上げや路線バス、電車の定期代、地域公共交通の利用を扶助する。

- ・バス借上げ
対象校: 山辺小学校、本郷小学校、四賀小学校、梓川小学校、大野川小学校
- ・タクシー借上げ
対象校: 波田小学校、島内小学校
- ・路線バス(定期券扶助)
対象校: 安曇小学校、大野川小学校
- ・電車(定期券扶助)
対象校: 波田小学校
- ・地域公共交通利用
対象校: 四賀小学校、梓川小学校

<現状に対する認識>

通学に困難な児童のため、実情に応じて継続して事業を実施していく。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	対象人数				
目標値	589				
実績値	601				
達成度	102.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	58,455				
国・県	1,631				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	56,824				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	59,224				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

児童生徒に係る研究や調査等を行う団体に対し負担金を支払うことにより、学校教育の充実・向上を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

【負担金実績】

(1) 県小学校長会	523,600円
(2) 県中学校校長会	470,550円
(3) 県学校保健会	158,500円(小学校)、91,500円(中学校)
(4) 県図書館協会	103,600円(小学校)、70,300円(中学校)
(5) 県統計教育研究協議会	33,600円(小学校)、19,200円(中学校)
(6) 県公立小中学校事務研究会	84,000円(小学校)、48,000円(中学校)
(7) 中信小学校管楽器研究会	48,000円
(8) 県へき地地域振興協議会	4,300円
(9) 長野県視覚放送教育研究会	169,498円(小学校)、81,662(中学校)
(10) 病弱虚弱教育連盟	1,000円(小学校)、1,000円(中学校)
(11) 鉢盛中学校	14,903,000円
(12) 県中学校体育連盟	1,221,000円
(13) 県吹奏楽連盟	102,000円
(14) 県中学校高等学校連絡会	28,500円
(15) 松本市幼年教育研究会	134,400円

＜現状に対する認識＞

今後も学校教育の充実・向上を図るため継続していく。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	団体数				
目標値	15	15	15	15	15
実績値	15				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	18,298				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,298				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	19,067				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校営繕(小学校)
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校営繕費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
学校施設の整備と保守を行い、児童の安全を守り、教育環境を充実させるもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
学校施設の整備及び保守。

＜現状に対する認識＞
児童のため、環境改善を図ることを目的とし、限られた予算のなかで効果的な事業実施がおこなわれている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用者数(児童数)				
目標値	12,734	12,645	12,586	12,456	12,270
実績値	12,734				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	70,293					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	70,293					
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工	
正規	385	0.05				
嘱託	0					
合計コスト①+②	70,678					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	授業用校用備品充実整備(小学校)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	授業用校用備品充実整備費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
教育内容、教育方法などの変化に伴い、子どもたちをとりまく学校環境の多様化が進んでおり、そのスピードや高機能化に対応するため、学校の授業用校用備品を計画的に整備していくもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 授業用消耗品購入
各校で必要な授業用の消耗品を学校配当予算にて購入。
- 学校用備品購入
各校で必要な教材用・校用器具用を学校配当予算にて購入。
ピアノ、印刷機、カーテンを導入計画により購入。
木製机椅子を5年間の購入計画によりスチール机椅子に更新。
- 図書購入
児童用・教師用図書の購入。
- 学校ICT機器の充実
児童の情報活用能力を育成、ICT機器活用によるわかりやすい授業の促進、教職員の事務負担軽減等を目的とし、環境整備を図る。
ICT機器については、各校パソコン教室用PC35台(児童使用用)、校務用としてクラス数×2+2台を配備している。

＜現状に対する認識＞

学校配当予算により各学校の判断で必要な教材備品・校用備品を計画的に購入。
ピアノ、印刷機、カーテンについては計画的に更新。
ICT機器については概ね5年ごとに更新。
教育指導要領の改訂に対応できるICT機器の導入を検討する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	学校数				
目標値	28	28	28	28	28
実績値	28				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	234,358				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	234,358				
② 人件費(千円)	3,076	人工	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4			
嘱託	0				
合計コスト①+②	237,434				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	特別支援学級運営 (小学校)
-------	-------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援学級運営費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
知的障害、情緒障害、難聴、病虚弱等児童に対応するため、各小学校に設置されている特別支援学級の運営体制の充実を図るもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
特別支援学級用の教材購入等により、特別支援学級の運営体制の充実を図る
平成28年度学級数(平成28年5月1日現在) 25校 82学級 ※安曇・大野川・奈川を除く
【事業費内訳】
・消耗品費 1,573千円
・備品購入費 1,328千円
・負担金 53千円

＜現状に対する認識＞
特別支援学級の運営を維持し、適切な教育指導を行うため、今後も継続していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	特別支援学級設置校数				
目標値	25	25	25	25	25
実績値	25				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,954					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	2,954					
② 人件費(千円)	77	人工	人工	人工	人工	
正規	77	0.01				
嘱託	0					
合計コスト①+②	3,031					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	芝沢小大規模改造事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	清水小大規模改造事業費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H25～H28
健全な学校施設環境を維持するため、老朽化した施設・設備の大規模改修工事を行うもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
屋根改修、床改修、外断熱化、太陽光発電設備設置、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電設備の更新等を行うもの。

＜現状に対する認識＞
大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	本事業の整備率				
目標値	60%	100%			
実績値	60%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	330,820					
国・県	72,262					
利用者負担金						
その他						
一般財源	258,558					
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工	
正規	769	0.1				
嘱託	0					
合計コスト①+②	331,589					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	並柳小学校大規模改造事業
-------	--------------

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	並柳小学校大規模改造事業費

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	H26 ~ H29
--------	-----------

健全な学校施設環境を維持するため、老朽化した施設・設備の大規模改修工事を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

屋根改修、床改修、外断熱化、窓断熱化、太陽光発電設備設置、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電施設の更新等を行うもの。

<現状に対する認識>

大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	本事業の整備率				
目標値	60%	100%			
実績値	60%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	224,154				
国・県	59,545				
利用者負担金					
その他					
一般財源	164,609				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	224,923				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	学校施設整備事業(小学校)
-------	---------------

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

児童が安全、安心な学校生活を送るために、学校施設の整備と保守を行い、教育環境を充実させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

--

<現状に対する認識>

施設の状況及び重要度により、順位付けを行い、順次対応している。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	72,742				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	72,742				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
	正規	1,538	0.2		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	74,280				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地震防災緊急事業(小学校)
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H28～H32
--------	---------

安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了)
→建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
- 2 非構造部材の耐震化
→体育館・教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事
(体育館:H28完了)
- 3 防災機能強化
→避難施設としての防災設備の整備
- 4 中間教室施設の耐震化
→中間教室あずさの家の解体

＜現状に対する認識＞

尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	本事業の整備率				
目標値	4%	7%	51%	96%	100%
実績値	4%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	52,209				
国・県	15,971				
利用者負担金					
その他					
一般財源	36,238				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	52,978				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	小学校プール改修事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備		
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	小学校プール改修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H27 ~ H28
--------	-----------

学校プール施設の老朽化、機能低下に対応するため改築工事を行い、教育環境の改善及び建物耐久性の確保を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

菅野小学校:
 プール本体及びプール附属室の改築
 プールろ過機・給排水設備・電気設備の更新

<現状に対する認識>

プール整備事業計画に沿って、順次整備していく。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	本事業の整備率					
目標値	100%					
実績値	100%					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	180,474				
国・県	21,882				
利用者負担金					
その他					
一般財源	158,592				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	181,243				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	清水小大規模改造事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	清水小大規模改造事業費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H25～H28
健全な学校施設環境を維持するため、老朽化した施設・設備の大規模改修工事を行うもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
屋根改修、床改修、外断熱化、太陽光発電設備設置、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電設備の更新等を行うもの。

＜現状に対する認識＞
大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	本事業の整備率				
目標値	100%				
実績値	100%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	272,633					
国・県	72,163					
利用者負担金						
その他						
一般財源	200,470					
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工	
正規	769	0.1				
嘱託	0					
合計コスト①+②	273,402					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校施設長寿命化改良事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備		
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設長寿命化改良事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H28 ~
国のインフラ長寿命化計画の策定を受け、学校施設についても大規模改造～延命へ転換し、築40年以上経過した施設を今後30年以上使用するため、構造体の耐久化とインフラ設備の更新を行うもの。また、建物の延命化により、建物更新時に係る費用の平準化を行うもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 劣化度調査 建物の劣化の状態を調査し、事業実施の判断を行う。また、工事の概算工事費の算出をおこなう。
2 実施設計 劣化度調査をもとに、長寿命化改良工事の実施設計をおこなう。
3 工事 長寿命化改良工事の実施(工期 2年～3年)

<現状に対する認識>
施設の劣化の状況を判断し、計画的に進める。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業の整備率				
目標値	0%	0%	3.90%	11.70%	13.40%
実績値	0%				
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	35,802				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	35,802				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	36,571				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	トライやるエコスクール事業 (中学校)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み			○確かな学力が身につく学校環境の整備	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	トライやるエコスクール事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
各学校で農作物の栽培・飼育活動・地域文化の学習等に取り組み、豊かな人間性を培う活動を行った。また、地域指導者を活用することにより特色ある事業を展開し、地域と交流を深める活動も行った。さらに、環境教育としてリサイクル活動やみどりのカーテン設置等を行った。 【活動事例】 ・地域招聘事業(地域の歴史・文化財等の学習・伝統文化体験学習・進路学習等) ・農業・栽培体験学習(スクールファーム、1人一鉢づくり等) ・福祉施設訪問等の地域福祉交流やボランティア活動等 ・温暖化対策体験活動(緑のカーテン効果検証、校舎内緑化活動等) ・エコ活動(リサイクル活動、ゴミの分別活動、堆肥づくり等) ・小中学校環境教育支援事業協力団体との活動 ほか

<現状に対する認識>
より地域との連携を深め、各学校で特色ある活動や環境教育に取り組めるよう努める。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	実施校数				
目標値	20	20	20	20	20
実績値	20				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	8,686				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,686				
② 人件費(千円)	77	人工	人工	人工	人工
正規	77	0.01			
嘱託	0				
合計コスト①+②	8,763				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校行事運営(姫路市・松本市中学生交歓キャンプ)
-------	--------------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
姉妹都市である姫路市と松本市の中学生が合宿生活を営むことによって、相互の親睦を図り、友情を深めながら交流の輪を広げ、もって姉妹都市交流の実をあげる。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 参加者	松本市及び姫路市の中学生35名ずつ、計70名及び教職員
2 日程	夏休み期間中3泊4日
3 実施内容	松本市での開催時は、上高地の散策や松本城等市内を散策。姫路市での開催時は、姫路城の見学、海洋体験等を実施。
4 その他	松本市と姫路市で毎年相互に開催。昭和55年から実施している。

<現状に対する認識>

30年以上続く行事として、今後も継続して実施していく。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	開催回数				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	600				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	600				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	2,138				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	特別支援教育就学奨励事業(中学校)
-------	-------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育就学奨励事業

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
特別支援学級に就学する、生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

発達障害、特別な支援を必要とする児童生徒のために設置された特別支援学級に就学する、生徒の保護者の経済的負担を軽減するために必要な援助を行う。
 学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の一部の援助を実施。

＜現状に対する認識＞

特別支援学級へ就学する児童生徒について、特殊児童にかんがみ、負担能力の程度に応じて援助をすることにより、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	指標名					
①	成果指標(指標名)					
	目標値					
	実績値					
	達成度					
②	成果指標(指標名)					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,356				
	国・県	2,026			
	利用者負担金	0			
	その他	0			
	一般財源	2,330			
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工
	385	0.05			
	0	0			
合計コスト①+②	4,741				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	遠距離生徒通学 (中学校)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み			○確かな学力が身につく学校環境の整備	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	遠距離生徒通学費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
徒歩・自転車通学が困難な生徒のために通学費を扶助するため		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
遠距離(原則6km以上)により徒歩・自転車通学が困難な生徒のために、バス、タクシーの借上げや路線バスの定期代、地域公共交通利用を扶助する。
・バス借上げ 対象校:山辺中学校、会田中学校、梓川中学校、大野川中学校
・タクシー借上げ 対象校:開成中学校、女鳥羽中学校
・路線バス(定期券扶助) 対象校:安曇中学校、大野川中学校
・地域公共交通利用 対象校:会田中学校、梓川中学校

＜現状に対する認識＞
通学に困難な生徒のため、実情に応じて継続して事業を実施していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	対象人数				
目標値	163				
実績値	164				
達成度	100.6%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	13,572					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	13,572					
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1				
嘱託	0					
合計コスト①+②	14,341					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図ること目的に開催されており、開催を支援・助成することにより、陸上への関心と競技力向上及び地域スポーツの振興をはかるもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

全日本中学校陸上競技選手権大会負担金
【大会実績】

1 会 期	平成28年8月21日(日)～24日(水)
2 会 場	松本平広域公園陸上競技場 やまびこドーム(開会式)
3 参加生徒数	1,765名
競技役員数	665名
生徒役員数	524名

＜現状に対する認識＞

--

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	団体数				
目標値	1				
実績値	1				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,000				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,000				
② 人件費(千円)	76.9	人工	人工	人工	人工
正規	76.9	0.01			
嘱託	0				
合計コスト①+②	5,077				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校営繕(中学校)
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校営繕費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
学校施設の整備と保守を行い、生徒の安全を守り、教育環境を充実させるもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
学校施設の整備及び保守。

＜現状に対する認識＞
児童のため、環境改善を図ることを目的とし、限られた予算のなかで効果的な事業実施がおこなわれている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用者数(生徒数)				
目標値	6,130	5,960	5,892	5,921	5,959
実績値	6,130				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	52,912				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	52,912				
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05			
嘱託	0				
合計コスト①+②	53,297				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	授業用校用備品充実整備(中学校)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	授業用校用備品充実整備費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
教育内容、教育方法などの変化に伴い、子どもたちをとりまく学校環境の多様化が進んでおり、そのスピードや高機能化に対応するため、学校の授業用校用備品を計画的に整備していくもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 授業用消耗品購入
各校で必要な授業用の消耗品を学校配当予算にて購入。
- 学校用備品購入
各校で必要な教材用・校用器具用を学校配当予算にて購入。
ピアノ、印刷機、カーテンを導入計画により購入。
- 図書購入
児童用・教師用図書の購入。
- 学校ICT機器の充実
生徒の情報活用能力を育成、ICT機器活用によるわかりやすい授業の促進、教職員の事務負担軽減等を目的とし、環境整備を図る。
ICT機器については、各校パソコン教室用PC35台(生徒使用用)、校務用として常勤職員分を配備している。

＜現状に対する認識＞

学校配当予算により各学校の判断で必要な教材備品・校用備品を計画的に購入。
ピアノ、印刷機、カーテンについては計画的に更新。
ICT機器については概ね5年ごとに更新。
教育指導要領の改訂に対応できるICT機器の導入を検討する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	学校数				
目標値	19	19	19	19	19
実績値	19				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	168,342				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	168,342				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	170,649				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	特別支援学級運営 (中学校)
-------	-------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援学級運営費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
知的障害、情緒障害、難聴、病虚弱等児童に対応するため、各中学校に設置されている特別支援学級の運営体制の充実を図るもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
特別支援学級用の教材購入等により、特別支援学級の運営体制の充実を図る 平成28年度学級数(平成28年5月1日現在) 16校 45学級 ※安曇・大野川・奈川を除く
【事業費内訳】 ・消耗品費 819千円 ・備品購入費 721千円 ・負担金 34千円

＜現状に対する認識＞
特別支援学級の運営を維持し、適切な教育指導を行うため、今後も継続していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	特別支援学級設置校数				
目標値	16	16	16	16	16
実績値	16				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,574					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	1,574					
② 人件費(千円)	77	人工	人工	人工	人工	人工
正規	77	0.01				
嘱託	0					
合計コスト①+②	1,651					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	波田中学校大規模改造事業
-------	--------------

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	波田中学校大規模改造事業費

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度	H26 ~ H29
--------	-----------

健全な学校施設環境を維持するため、老朽化した施設・設備の大規模改修工事を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

屋根改修、床改修、外断熱化、窓断熱化、、太陽光発電設備設置、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電施設の更新等を行うもの。

<現状に対する認識>

大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	本事業の整備率				
目標値	60%	100%			
実績値	60%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	245,246				
国・県	69,402				
利用者負担金					
その他					
一般財源	175,844				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	246,015				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校施設整備事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

児童が安全、安心な学校生活を送るために、学校施設の整備と保守を行い、教育環境を充実させる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 赤水対策 高綱中学校 給水管、受水槽、高架水槽更新
2 グランド整備 梓川中学校 防球ネット設置

<現状に対する認識>

施設の状況及び重要度により、順位付けを行い、順次対応している。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	42,397				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	42,397				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
	1,538	0.2			
	0				
合計コスト①+②	43,935				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地震防災緊急事業(中学校)
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H28~H31
安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了) →建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
2 非構造部材の耐震化 →体育館・教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事 (体育館:H28完了)
3 防災機能強化 →避難施設としての防災設備の整備
4 中間教室施設の耐震化 →中間教室あずさの家の解体

<現状に対する認識>
尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	本事業の整備率				
目標値			50%	100%	
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,114				
国・県	0				
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,114				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	4,883				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	暖房機更新事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備		
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	暖房機更新事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	14	～	36
--------	----	---	----

児童生徒の学校生活に直接かかわる暖房機を計画的に更新し改善していくことで、故障を回避し安全性を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

小中学校FF式暖房機の更新
 更新計画に基づき小学校と中学校のFF式暖房機を更新
 第2期(平成21年度～)更新分2,585台の45.42%が完了(平成28年度)

<現状に対する認識>

計画通りに更新ができている。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	暖房機の更新率					
目標値	45.42	50.33	56.52	61.59	67.97	
実績値	45.42					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	20,455				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,455				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	21,993				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	中学校プール改修事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	中学校プール改修事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28 ~ H28
学校プール施設の老朽化、機能低下に対応するため改修工事を行い、教育環境の改善及び建物耐久性の確保を図るもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
波田中学校: プール槽の改修(塗装→シート防水)
明善中学校: プールろ過機、給排水設備の更新

＜現状に対する認識＞
プール整備事業計画に沿って、順次整備していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	本事業の整備率				
目標値	100%				
実績値	100%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	41,796									
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	41,796									
② 人件費(千円)	769	人工		人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1								
嘱託	0									
合計コスト①+②	42,565									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	菅野中学校大規模改造事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	菅野中学校大規模改造事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H25 ~ H28
健全な学校施設環境を維持するため、老朽化した施設・設備の大規模改修工事を行うもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
屋根改修、床改修、外断熱化、窓断熱化、、太陽光発電設備設置、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電施設の更新等を行うもの。

＜現状に対する認識＞
大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	本事業の整備率				
目標値	100%				
実績値	100%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	319,708				
国・県	65,700				
利用者負担金					
その他					
一般財源	254,008				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	320,477				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	児童生徒保健管理
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	児童生徒保健管理費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
児童生徒の健康管理をするため		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 児童生徒の健康教育・健康管理 児童生徒健康診断の実施等
2 近年増加している子どもの生活習慣病の予防対策 小学4年生、中学2年生の血液検査の実施
3 健康管理上必要な検査の実施や消耗品、検査機器購入等 学校環境衛生検査(ホルムアルデヒド等)、保健室用消耗品、備品の購入

＜現状に対する認識＞
児童生徒の健康管理のため、法改正等に則りながら継続して事業を実施していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	児童生徒数				
目標値	19,071				
実績値	18,859				
達成度	98.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	62,535					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	62,535					
② 人件費(千円)	6,152	人工	人工	人工	人工	人工
正規	6,152	0.8				
嘱託	0					
合計コスト①+②	68,687					
前年度比	—					

学校指導課

課長 横田 則雄

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	人権教育推進
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち		主な取組み	○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

児童生徒が人権感覚を培い、差別のない社会を築くこと。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てることを目指し、教職員を対象に研修を実施

- 学校人権教育研究協議会等
 - ア 7月4日 学校人権教育研究協議会
 - イ 8月1日 学校人権教育研修会
- 学校人権教育担当指導主事研修
 - ア 人権リーダー養成・部落問題講座(長野市:3日間)に参加
 - イ 人権教育指導方法研究会(長野市:年3回)に参加
- 全国人権同和教育研究大会
 - 第68回全国人権・同和教育研究大会(大阪府大阪市)参加
- 学校人権教育実践記録発行
 - ア 教師自身の豊かな人権感覚実践記録集
 - イ 学校人権教育実践記録
- 児童生徒の人権教室 運営:児童生徒の人権教室運営委員会(県費補助有り)
 - ア 学習会 島内解放子ども会 毎週月曜日 18:00～20:00開級
 - イ 交流体験教室(フロアホッケー、韓国料理、LGBT交流会)

＜現状に対する認識＞

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てるため、人権課題に即した教職員の研修や各学校への周知に努めたい。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	国・県	307								
	利用者負担金	50								
	その他									
	一般財源	257								
② 人件費(千円)	正規	1,000	人工		人工		人工		人工	
	嘱託	0	0							
合計コスト①+②	1,307									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	特別支援教育推進
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育推進費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
特別な支援を必要とする児童生徒に適切な学習環境を整える。 周囲の児童生徒への影響を最小限に抑え、安定した学級・学校経営へつなげる。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
小中学校の特別支援教育を推進する。 (1) 松本市中心身障害児就学支援委員会の運営 28年度 7回開催 (6月16日、9月1日、10月6日、11月10日、12月8日、1月12日、2月16日) 知能検査(WISC-IV)結果を支援委員会での判断資料とした。 (2) 特別支援教育支援員の研修会 28年度 2回開催(6月28日、11月24日) 適応指導・学習指導改善教員と合同で実施 (3) 「ふれあい教育展」(特別支援教育展)の開催 ア 特別支援学校、特別支援学級に在籍する児童生徒の学習発表及び交流地域との触れあいを通じて、特別支援教育への理解が深まることを期待して「ふれあい教育展」の運営を業務委託 (委託先:松本市長会特別支援教育担任者会、委託料:300千円) イ 和太鼓演奏の講師謝礼 150千円 指導回数10回 (事務当番校:開智小学校) ウ 「ふれあい教育展」開催内容 期日:10月14日、10月15日 会場:あがたの森公園 内容:学習活動で制作した作品の展示や販売活動、和太鼓演奏の発表等 (4) 医療的支援員配置事業(H28～) 小中学校における医療的ケアのための看護師を配置(インクルーシブ教育の一環)平成28年度 1校1人対象 看護師4人

＜現状に対する認識＞
障害者差別解消法の施行に伴い、今後インクルーシブ教育の重要性が高まると考えられる。特別支援教育の充実に向け、関係職員の支援力向上や市民の特別支援教育に対する関心の向上に努めたい。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	38,066					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	38,066					
② 人件費(千円)	3,076	人工	人工	人工	人工	
正規	3,076	0.4				
嘱託	0	0				
合計コスト①+②	41,142					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	英語指導助手配置事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備		
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	英語指導助手配置事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

外国人講師と会話をすることで、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につける。また、交流をはかることで異文化を知り、児童生徒の国際感覚の素地をつくること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

小中学校に外国人の英語講師を配置する。
 (1) 小学校 コミュニケーション能力の素地を養う。
 (2) 中学校 コミュニケーション能力の向上と国際感覚を身につけた人間性豊かな生徒の育成
 ※平成28年度から、プロポーザルによる業者選定を実施するとともに、派遣法に基づく派遣契約で実施

<現状に対する認識>

ALTについて小学校7名、中学校6名、安曇地区小中学校2名でカバーしている。
 ※平成32年より新学習指導要領で小学校の外国語指導の時間が増えるためALTの需要が増えるものと考えられる。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	配置校数(市内公立小中学校数)				
目標値	47	47	47	47	47
実績値	47				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	51,883				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	51,890				
② 人件費(千円)	1,576	人工	人工	人工	人工
正規	1,576	0.205			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	53,459				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	不登校児童生徒対策事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	不登校児童生徒対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

不登校児童生徒の減少及び学校復帰ができる児童生徒の増加。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 中間教室の運営
鎌田中間教室、山辺中間教室、あかり教室の3中間教室を運営
ア 消耗品(文具、医薬品、教材等)
イ 調理実習費
ウ 燃料費
エ 修繕費
オ 電話料
- 不登校支援アドバイザーによる学校訪問・支援
学校訪問回数 小学校130回、中学校85回
訪問面談(校長、教頭、担任、保護者等)215回、授業参観786回、見学13回
- スクールソーシャルワーカーの派遣
学校訪問 小学校37回、中学校35回
教育相談 6回
医療機関と連携したケース会議 5回
- 医師による教育相談(元気アップ教育相談)
宮坂医師担当:6月23日、10月21日、1月26日
東医師担当:5月18日、9月21日、12月9日、2月22日

<現状に対する認識>

市のSSWは、1名雇用しておりますが、県のSSWと合わせてもSSW1名につき中学校6～7校担当することとなり、SSWの負担の解消には至らない状況です。各学校のニーズや一人ひとりの児童生徒へのきめ細やかな対応のためにも、更にSSWの増員と資質向上に向けた研修が必要です。

<指標の達成状況>

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	不登校児童生徒の割合				
目標値	1.5	1.5	1.5	1.4	1.3
実績値	1.6				
達成度	106.7%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,051				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,051				
② 人件費(千円)	4,749	人工	人工	人工	人工
正規	2,384	0.31			
嘱託	2,366	0.83			
合計コスト①+②	9,800				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	コミュニティスクール事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み	○町会との協働による支えあえる地域づくり		
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標			
—	—	—	松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	コミュニティスクール事業

<事業の狙い>	事業計画年度	～
学校・家庭・地域の連携協働による持続可能な学校支援の仕組みを構築すること。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(1)松本版・信州型コミュニティスクール
市内公立小中学校全校に「コミュニティスクール運営委員会」を設置。
特色ある学校、地域に開かれた信頼される学校を目指して、地域の人材を活用した事業に取り組む。

平成28年度運営委員会設置校 47校

<現状に対する認識>

28年3月松本版・信州型コミュニティスクール運営委員会が全学校で導入された。
学校教育課の「トライやるエクスクール事業」、生涯学習課の「学校サポート(学校応援団)事業」の趣旨や内容を見直し、調整を図る。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	運営委員会設置校数				
目標値	47	47	47	47	47
実績値	47				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,188				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,188				
② 人件費(千円)	692	人工	人工	人工	人工
正規	692	0.09			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	1,880				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校行事運営(小学校)
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備		
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費(小学校)

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

小学校における学校行事のうち、教育委員会の方針によって実施するものの費用を支出し、保護者負担の軽減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 卒業音楽会(6年生)
合唱・合奏の成果を発表する卒業音楽会の消耗品費の配当や送迎バスの手配等。
- 教育文化センター学習(全5年生対象)1日学習の送迎バス
教育文化センターにて、理科授業を実施する1日学習の送迎バスの手配。
- 花を育てる心育成活動
児童の花を育てる心の育成を目的に、事業実施のための消耗品費を配当するもの。なお、教育会主催で各校花壇の写真展を開催(4カ所程度)。
- 山間3校(安曇、大野川、奈川)の行事用バス
ア 鑑賞音楽会での送迎
イ 演劇鑑賞会での送迎(隔年実施 28年度実施)
ウ 奈川小中学校校外学習での送迎(わらび採り)
- 奈川小学校行事用送迎車両運転業務委託

<現状に対する認識>

事業内容の見直しをしながら、より充実した学習機会の提供に努めます。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	国・県									
	利用者負担金									
	その他									
	一般財源	6,500								
② 人件費(千円)	正規	807	0.105							
	嘱託	0	0							
	人工									
合計コスト①+②	7,307									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(小学校)
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>	事業計画年度	～
・教科及び教科指導の研究へ補助し、学習指導における教育効果の向上を図る。 ・学校行事へ補助し、学習経験の充実や保護者負担の軽減を図る。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(1) 小学校教科研究費補助	H28 学校割 @25,000円×28校=700,000円
	H28 教員割 @914円×645人=589,530円
	市補助 1,289,530円
(2) 小学校鑑賞音楽会補助	H28 @200円 児童数12,734人
	全事業費 11,776,526円
	市補助 2,546,800円
(3) 安曇・奈川地区演劇鑑賞会補助	H28 事業費 313,000円
	保護者負担 @1,000円×73人=73,000円
	市補助 240,000円

<現状に対する認識>

事業実績の審査を徹底し、適切な補助金支出に努めます。

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,077				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,077				
② 人件費(千円)	327	人工	人工	人工	人工
正規	327	0.0425			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	4,404				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	人権教育推進(小学校)
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち		主な取組み	○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費(小学校)

<事業の狙い>	事業計画年度	~
児童が人権感覚を培い、差別のない社会を築くこと。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
各小学校において人権教育の推進を図るとともに、市内5ブロックで継続している中心校による公開研究授業を行うもの。
(1) 学校配当一般消耗品 全小学校に配当 3,000円×29校
(2) ブロック中心校の公開授業のための消耗品費を配当 平成28年度ブロック中心校3校 中山小学校、田川小学校、島立小学校 7,000円×3校
(3) 全市中心校の公開授業のための消耗品費を配当 平成28年度全市中心校 開明小学校 10,000円×1校
(4) 児童用副教材「あけぼの」の全面改定による更新 (平成28年度は低学年版が改定) 低学年用 児童用 1校30冊×28校 教師用 1校1冊×28校 補充用 中学年児童用 各校1冊 " 高学年児童用 各校1冊

<現状に対する認識>
人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てるため、各校で人権教育を推進するとともに、研究、修養に努める。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	582				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	582				
② 人件費(千円)	77	人工	人工	人工	人工
正規	77	0.01			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	659				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校行事運営(中学校)
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます	
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	市長公約	主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備		
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費(中学校)

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

中学校における学校行事の内、教育委員会の方針によって実施するものの費用を支出し、学習経験の提供と保護者負担の軽減を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 中学校体育連盟による市中学生大会
中学校体育大会事務局(当番校)への消耗品費や審判謝礼の配当。賞状の印刷や送迎バスの手配をするもの。
- 教育文化センター学習(全1学年対象)1日学習の送迎バス
教育文化センターにて、理科授業を実施する1日学習の送迎バスの手配。
- 会田中学校水泳授業生徒送迎バス
当該中学校生徒をB&G四賀海洋センターへ送迎するもの。
- 花を育てる心育成活動
児童の花を育てる心の育成を目的に、事業実施のための消耗品費を配当するもの。なお、教育会主催で各校花壇の写真展を開催(4カ所程度)。
- 奈川中学校行事用送迎車両運転業務委託

<現状に対する認識>

事業内容の見直しをしながら、より充実した学習機会の提供に努めます。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	国・県									
	利用者負担金									
	その他									
	一般財源	5,038								
② 人件費(千円)	807	人工		人工		人工		人工		
	正規	807	0.105							
	嘱託	0	0							
合計コスト①+②	5,845									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(中学)
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

・教科及び教科指導の研究へ補助し、学習指導における教育効果の向上を図る。
 ・学校行事や山間校の部活動へ補助し、学習経験の充実や保護者負担の軽減を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

(1) 中学校教科研究費補助
 教科及び教科指導の研究を進め、生徒への学習指導
 H28 学校割 @25,000×19校=475,000円
 教員割 @995×407人=404,965円
 市補助 879,965円

(2) 中学校鑑賞音楽会補助
 H28実績 @400円 生徒数6,103人
 全事業費 5,844,463円
 市補助 2,441,200円

(3) 大野川中学校部活補助
 H28実績 60,000円

＜現状に対する認識＞

事業実績の審査を徹底し、適切な補助金支出に努めます。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,382				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	3,382				
② 人件費(千円)	327	人工	人工	人工	人工
	327	0.0425			
	0	0			
合計コスト①+②	3,709				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	人権教育推進(中学)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち	主な取組み		○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費(中学)

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

お互いの実践を見合うことで研修を重ね実践力を高めること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

お互いの実践を見合うことで研修を重ね実践力を高めること。

<現状に対する認識>

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てるため、各校で人権教育を推進するとともに、研究、修養に努める。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	103				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	103				
② 人件費(千円)	77	人工		人工	
	77	0.01			
	0	0			
合計コスト①+②	180				
前年度比	—				

学校給食課

課長 山田 賢司

事務事業評価票

事務事業名	学校給食センター管理運営(梓川)
-------	------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜事業の狙い＞	事業計画年度	S45～
市内(梓川地区)児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

＜現状に対する認識＞
給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保するもの

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
目標値	212	204	204	204	204
実績値	204				
達成度	96.2%				
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	17,468					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	17,468					
② 人件費(千円)	39,310	人工	人工	人工	人工	人工
正規	30,760	4				
嘱託	8,550	3				
合計コスト①+②	56,778					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食センター管理運営(四賀)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	S45～
市内(四賀地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

＜現状に対する認識＞
給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保するもの

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
目標値	212	200	200	200	200
実績値	200				
達成度	94.3%				
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0				
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	6,112				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,112				
② 人件費(千円)	23,930	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	8,550	3			
合計コスト①+②	30,042				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食センター管理運営(西部)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
市内(西部センター管内)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 徹底した衛生管理の実施
- 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保
(献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

＜現状に対する認識＞

給食停止が発生しないよう計画的な更新改修が必要となり、学校給食の提供を確保していくもの

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数					
	目標値	213	194	194	194	194
	実績値	194				
	達成度	91.1%				
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数					
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0				
	達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	230,627				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	230,627			
② 人件費(千円)	239,300	人工	人工	人工	人工
	正規	153,800	20		
	嘱託	85,500	30		
合計コスト①+②	469,927				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食センター管理運営(東部)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	S45～
市内(東部センター管内)児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

＜現状に対する認識＞

給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保するもの

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
目標値	213	194	194	194	194
実績値	194				
達成度	91.1%				
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	166,359				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	166,359				
② 人件費(千円)	239,300	人工	人工	人工	人工
正規	153,800	20			
嘱託	85,500	30			
合計コスト①+②	405,659				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食センター管理運営(波田)
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	S45～
市内(波田地区)の児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保 (献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

＜現状に対する認識＞
給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保するもの

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数				
目標値	211	204	204	204	204
実績値	204				
達成度	96.7%				
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	21,482				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	21,482				
② 人件費(千円)	42,160	人工	人工	人工	人工
正規	30,760	4			
嘱託	11,400	4			
合計コスト①+②	63,642				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校給食管理運営
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食管理運営費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	S45～
市内(安曇、大野川、奈川地区)児童・生徒に安全で安心な学校給食を提供する	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 徹底した衛生管理の実施
- 既存設備に係る修繕等による給食提供の確保
(献立作成→食材発注→検収→調理→配送→回収→洗浄→準備)

＜現状に対する認識＞

給食停止が発生しないよう学校給食の提供を確保するもの

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	給食実施延べ日数					
	目標値	203	199	199	199	199
	実績値	199				
	達成度	98.0%				
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数					
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0				
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	11,480				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	11,480			
② 人件費(千円)	26,780	人工	人工	人工	人工
	正規	15,380	2		
	嘱託	11,400	4		
合計コスト①+②	38,260				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	給食厨房設備更新事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	給食厨房設備更新事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H23～
徹底した衛生管理を行うため、施設設備の老朽化に対し、計画的に更新を行う。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 徹底した衛生管理の実施
2 既存設備に係る修繕、更新による安定的な給食の確保

＜現状に対する認識＞
給食停止が発生しないように学校給食の提供を実施するもの

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業費の進捗率(コストベース) 単位:千円				
目標値	44,030	75,440	95,710	67,940	51,630
実績値	23,360				
達成度	53.1%				
② 成果指標(指標名)	事故等による給食停止日数				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0				
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	23,360				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	23,360				
② 人件費(千円)	0	人工	人工	人工	人工
正規	0				
嘱託	0				
合計コスト①+②	23,360				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校給食課	課CD	13180000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	アレルギー対応食提供事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	○確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—		松本版総合戦略	⑤

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校給食センター管理運営費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H17 ~
食物アレルギー疾患を持つ児童・生徒に対して、等しく学校給食を提供する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 食物アレルギーを持つ児童・生徒一人ひとりの症状に合った対応食を提供
2 緊急時の対応について、全校対象に緊急対応マニュアルの見直し、エピペン使用研修会等を実施
3 個別の懇談会等で食物アレルギーの最新情報を提供します。また経口負荷試験等解除の進め方を発信

＜現状に対する認識＞
近年増加を続けるアレルギー対応食提供者に対し、解除に向けた取組みを継続していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	アレルギー対応食提供者数				
目標値	215	220	220	220	220
実績値	182				
達成度	84.7%				
② 成果指標(指標名)	誤食等事故件数				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	10,652				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,652				
② 人件費(千円)	29,630	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	14,250	5			
合計コスト①+②	40,282				
前年度比	—				

生涯学習課

課長 高橋 伸光

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	勤労青少年ホーム事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	勤労青少年ホーム事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
勤労青少年の福祉の増進、社会性の涵養及び職業生活の充実を図るもの。 若者の出会いと交流を図るもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 相談事業(ヤングキャリアメンター)
産業カウンセラー等による人生問題、職業生活上の悩み相談を実施
- ホーム主催事業
 - ヤングスクール
春、秋、冬の3期に分けて各期約15講座開催
 - 交流事業
ウエルカムホームデー、オータムパーティー、スノーボードスクール等で
会員同士の交流を図る。
- サークル活動
7サークルが活動中
- 利用者の会自主活動
 - 交流事業
キャンプ、松本ぼんぼん、ホーム祭等の交流活動を自主企画。
 - ボランティア活動
子どもまつり、成人式、なんなんひろば文化祭への参加。

＜現状に対する認識＞

若者のライフスタイルの多様化及び少子化により、利用者が減少している。
ホームページ等を活用し、出会いと交流の場としてのホームの周知に努める。
また、若者が集まれる居場所としての新しい事業の企画に努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	講座等実施数				
目標値	140	140	140	140	140
実績値	137				
達成度	97.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,349				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	1,349				
② 人件費(千円)	15,810	人工	人工	人工	人工
正規	11,535	1.5			
嘱託	4,275	1.5			
合計コスト①+②	17,159				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	「生きる力(キャリア教育)」育成事業
-------	--------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み			○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2		次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑤		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	「生きる力(キャリア教育)」育成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
主体性や問題解決力等、児童・生徒が将来、社会で自立していきる力の育成を目指す。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 社会参画体験プログラム
 - 子どもプレイパークの実施(学都フォーラムと同時開催)
子どもが主体となって、子どもたちが楽しく遊べるイベントの企画運営。
 - 子ども地域チャレンジ
子どもたちが、地域の課題を考え、地域を良くするための体験活動。
- 子ども参観日
子どもが、保護者の働く姿を参観することで、働くことに対する子どもの理解を深める。
- 社会スタディーゼミの実施支援
中学生に対し、社会人による講座を実施し、仕事について考える機会を提供する。
- 中学校での職場体験の支援

＜現状に対する認識＞

松本版信州型コミュニティスクールなどの関連事業や、他課でキャリア教育類似事業が実施されているため、連携に努めます。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある児童・生徒の割合				
目標値	79.30%	79.30%	79.30%	79.30%	79.30%
実績値	76.00%				
達成度	95.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	782				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	782				
② 人件費(千円)	9,115	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	1,425	0.5			
合計コスト①+②	9,897				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	生涯学習推進
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	生涯学習推進費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
学習活動で学んだ知識や技術が人と人との活動を通じた繋がりの中から地域へとひろがり、地域社会に活かされる松本らしい生涯学習施策を推進するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 公民館研究集会
安心していきいきと暮らせる住みよい地域社会をつくるため、住民・行政・地縁団体・市民活動団体などが集い、自治力の必要性や高め方、協働のあり方などを考え、まちづくりについて学び合う集いを年1回開催(※28年度は「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会松本大会」として開催)
- 学びの森いんふおめーしょん発行
市民及び関係機関などの生涯学習関連情報を収集し、情報誌「学びの森いんふおめーしょん」を年4回(5月、8月、11月、2月)発行
- 地区独自事業
(1) 四賀地区夏祭り事業
旧四賀村からの継続事業として、地域活性化を目的に四賀地区住民が一堂に会する夏祭りを開催
(2) 梓川・御浜町交流事業
旧梓川村の友好親善提携に基づき、梓川子ども会育成会と御浜町小学校5・6年生の交流を実施
(3) 安曇・松崎町交流事業
旧安曇村の姉妹都市である松崎町と安曇地区の交流事業として松崎中

＜現状に対する認識＞

公民館研究集会では、関係者や関係機関が一堂に会して議論し、得られた学習成果とネットワークは各地区の地域づくりに活かされている。また、学びの森いんふおめーしょんでは、市内で開催される学習や活動している団体の情報提供から、生涯学習機会の充実が図られている。さらに、地区事業では、合併前から継続する地域の魅力や特性を活かした活動により地域づくりが推進されている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っていると思う市民の割合				
目標値	57.2				
実績値	59.6				
達成度	104.2%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,028				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,028				
② 人件費(千円)	25780	人工	人工	人工	人工
正規	19225	2.5			
嘱託	6555	2.3			
合計コスト①+②	29,808				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助金(専修学校各種学校連合会補助金等)
-------	----------------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます	
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	市長公約	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実		
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度	～
1 専修学校各種学校連合会補助金 専修・各種学校教職員の能力向上を図るため補助金を交付するもの 2 町内公民館整備補助金 地域住民の活動拠点となる町内の集会施設の整備を図り、地域づくりの発展に寄与するため、施設の整備に対して補助金を交付するもの。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 専修学校各種学校連合会補助金 専修学校・各種学校に所属する教職員の能力向上のために行われる研修会に対し補助金を交付 (40,000円×11校)
2 町内公民館整備補助金 町内の集会施設(町内公民館)の整備(新築、改築、改修、建設用地取得、福祉関連・耐震補強整備など)について要望のある町会へ補助金を交付(113件)
主なもの 新築、改築 : 1/2 (上限10,000千円) 改修 : 1/2 (上限5,000千円) 福祉・耐震 : 2/3 (上限5,000千円)

<現状に対する認識>

町会から補助内容拡充についての要望が寄せられているため、要綱の改正等について検討し、改善に努める。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	専修学校・各種学校所属職員対象の研修会参加者数					
	目標値	93	93	93	93	93
	実績値	93				
	達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	61,144				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	61,144			
② 人件費(千円)	3,076	人工	人工	人工	人工
	正規	3,076	0.4		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	64,220				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	百竹亭管理
-------	-------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	百竹亭管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

池上喜作氏の遺族から寄贈を受けた建物(住居、茶室、庭園等)を整備し、生涯学習施設として広く市民に提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 指定管理者の指定・管理委託

(1) 指定管理者制度の導入により、効率的かつ更なる利用促進が期待できる。

(2) 園内の木の生育に剪定が追い付いていない状況だったため、例年行っている造園工事内容を見直し、不要コストを削減した分で樹木剪定を実施。蚊や蜂等の害虫の発生を抑制する効果が見られた。

(3) 自主事業・利用促進事業の実施

ア 月1回(1・2月を除く)の月釜茶会

イ 7月に松本の七夕人形の展示・紹介

ウ 扇子・うちわ、湯たんぽ・ひざ掛けの無料貸し出しサービス

エ オープンガーデンへの参加

2 利用状況

(1) 開館日数: 308日(月曜日及び12月29日～1月3日休館)

(2) 利用人数: 3,605人

(3) 利用件数: 942件

＜現状に対する認識＞

建物と庭園の一部に老朽化が見られるが、管理運営費に見合う効果が上がっていないため、今後の施設のあり方を検討するとともに、それに見合った施設の整備が必要。

文化財としての価値(登録有形文化財の申請等)を検討しつつ、松本城から旧開智学校への動線など、歴史文化資源を活かしたまちづくりに百竹亭を有機的に生かす方法を考える必要がある。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	延利用者数(現状維持)					
	目標値	4,029	3,605	3,605	3,605	3,605
	実績値	3,605				
	達成度	89.5%				
② 成果指標(指標名)	施設の利用率(利用日数/開館日数)(現状維持)					
	目標値	79.9%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%
	実績値	72.7%				
	達成度	91.0%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,916				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	5,916			
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
	正規	769	0.1		
	嘱託	0	0		
合計コスト①+②	6,685				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ふれあいパーク乗鞍管理運営
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	ふれあいパーク乗鞍管理運営費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
水力発電施設周辺地域の福祉の向上及びコミュニティづくりと市民の生涯学習の推進を図る。広く市民に提供するとともに、指定管理者制度の導入により、効率的かつ更なる利用促進が期待できる。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 指定管理者の指定・管理委託 (1) 住民の会議、サークル活動、学校教育活動に係る施設の維持管理及び運営 (2) 自主事業の実施 ア 8月20日 サマーセミナー&フリーマーケット(参加者62名) イ 11月17日 防災訓練講習会(参加者32名)
2 利用状況 (1) 利用人数:2,087人 (2) 利用件数:138件

＜現状に対する認識＞
立地上、利用者が限られることに加え、高齢化・人口減少が進む地域性についても考慮して利用促進を図っていく必要がある。 現状の稼働を維持しつつ、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしていくため、例えば地域の商工観光部門との連携等、幅広い視点から住民の利用促進がなされる方策を検討する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	延利用者数(現状維持)				
目標値	3,984	2,087	2,087	2,087	2,087
実績値	2,087				
達成度	52.4%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,931					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	2,931					
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工	
正規	769	0.1				
嘱託	0	0				
合計コスト①+②	3,700					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	文化センター夢の森管理運営
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます	
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	市長公約	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実		
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	文化センター夢の森管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

当該施設は、公民館活動及び地域づくりの拠点施設であるほか、避難所に指定されているため、利用者が安心して安全に利用できるよう適正な管理を行い、利便性の向上及び利用促進を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 奈川文化センター夢の森改修事業
 公民館活動や地域づくりの拠点施設である当該施設を、利用者に安心・安全で快適に利用してもらうため、修繕・更新等を行うもの。

<現状に対する認識>

当該施設は、公民館活動及び地域づくりの拠点施設であるほか、避難所に指定されている。しかし、建設後20年以上が経過しており、経年劣化による故障もしくは更新時期の超過等により維持管理に支障を来しているため、計画的な修繕や改修等が必要である。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	利用者数					
目標値	9,936	9,300	9,300	9,300	9,300	
実績値	9,237					
達成度	93.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	10,267				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,267				
② 人件費(千円)	2,678	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	1,140	0.4			
合計コスト①+②	12,945				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	あがたの森文化会館管理運営
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	あがたの森文化会館管理運営費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
学都まつもとの象徴として、また、生涯学習活動の拠点としての旧松本高等学校本館及び講堂を、将来にわたって適切な保存と、より一層の活用を図ることを目的としたもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 生涯学習活動促進事業
市民の学習活動を支援し、様々な世代の生涯学習活動を促進するため、主催自主事業を開催
- 文化会館貸館管理事業
旧松本高等学校校舎を文化財として保存し、後世に受け継ぐとともに、これを市民の生涯学習、文化活動の拠点として活用するための管理
- 旧松本高等学校校舎耐震化事業
文化財を守りながら活用し後世に学都まつもとの理念を継承するため
・文化庁耐震診断指針に沿った耐震診断の実施
・文化財的価値を保ちながら、利用者の安全を確保する補強方法の検討
・保存活用計画の策定

＜現状に対する認識＞

旧松本高等学校は、生涯学習の拠点として年間10万人を超える利用があり、国の重要文化財としては全国的の類を見ない建物であり、今後も有効活用しながら建物保存を検討していくことが重要である。そこで計画的な修繕や改修を行っていく必要がある。
また、大地震時には倒壊し、来館者に人的被害発生恐れがあるため、耐震補強に着手する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用者数				
目標値	116,300	111,000	112,100	113,200	114,300
実績値	109,913				
達成度	94.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	26,668				
国・県	6,970				
利用者負担金					
その他					
一般財源	19,698				
② 人件費(千円)	26,780	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	11,400	4			
合計コスト①+②	53,448				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	学校サポート事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます		
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	市長公約	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実		
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校サポート事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

「地域と共にある学校づくり」と「特色ある学校づくり」をめざし、地区公民館が地域と学校のコーディネーター役を担い、地域資源を活用した地域で子どもを守り育てる仕組みを構築。また、地域住民の様々な知恵や知識・技術を活かし子どもに伝えることで、住民の生きがいづくりを推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内容
市内小中学校を対象に、全地区(35地区)で事業を展開

(1) 学習・部活動支援
食育・環境・郷土学習、読み聞かせの実践 他

(2) 安心・安全支援
子ども見守り隊、安全マップづくり、防災訓練 他

(3) 環境整備
庭木の剪定、花壇・農園づくり、学校施設の点検 他

2 28年度実績
35地区で実施

<現状に対する認識>

地域の子どもは地域で育てる取組みから、子どもと地域住民との絆づくりと生きがいづくりが推進される。
松本版・信州型コミュニティスクール事業等関連事業との連携や統合について、引き続き協議が必要。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	実施地区数(地区)				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	35				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,748				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,748				
② 人件費(千円)	36,890	人工	人工	人工	人工
正規	26,915	3.5			
嘱託	9,975	3.5			
合計コスト①+②	38,638				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独学級講座事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独学級講座事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
暮らしや生活に関わる身近な課題やその課題解決に向けた学習・事業を実施し、住民自らが主体的に行動する力(自治と活力)を育みながら、安心して住みよい地域づくりを推進するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 内容 暮らしの質を高め誰もが安心して住みよい地域をめざすため、仲間づくりをはじめ、生活や暮らしに関わる身近な課題や地域の課題を解決するために、様々な講座や事業を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・学習・文化・スポーツ活動 ・暮らしと地域を見つめる講座・事業 ・世代間交流、外国籍住民支援 ・町内公民館の活動支援、サークル活動への支援 ・歴史の記録、学習会の記録、史跡の保護・保全
2 28年度実績 (1) 講座数 1,037講座

＜現状に対する認識＞
幅広い住民の草の根活動を支え、響き合う関係から、住民参加型社会の担い手を地域から生みだし、住民の自治力と活力の高揚が図らる。 地域の様々な人材の掘り起しがされ、特色ある地域づくり活動の推進と地域の担い手、人材の育成が図られる。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	公民館活動利用人数(学級・講座・諸集会等)(人)				
目標値	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
実績値	190,423				
達成度	105.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	17,913				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	17,913				
② 人件費(千円)	197,609	人工	人工	人工	人工
正規	146,879	19.1			
嘱託	50,730	17.8			
合計コスト①+②	215,522				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公民館報作成事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	市長公約	主な取組み		○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	公民館報作成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
地区の歴史、年間行事、人物や文化活動・生涯学習活動など、住民自治に根ざした地域づくりのための問題提起、学習教材の提供など、住民の自由な発想と構想を活かした学習情報誌を発行するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 住民が館報編集委員会(各地区・全市版)を組織し、館報を編集し年6回(奇数月の30日)発行(全市版4頁、各地区版2頁)
2 内容
(1) 学習資料や地域情報の提供
(2) 公民館活動の広報
(3) 住民の声
(4) 地域の歴史資料 他

＜現状に対する認識＞

住民や地域、行政の動きを知らせるとともに、学習活動の資料となっている。地域住民の声を反映し、地域の連帯と交流の推進が図らる。住民相互のつながりを深めながら、その地区ならではの地域づくりの推進に向けた学習と討論、実践の学習教材となっている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	年間発行回数(回)				
目標値	6	6	6	6	6
実績値	6				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	公民館委員数(館報編集委員)				
目標値	297	297	297	297	297
実績値	297				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	18,449				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,449				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	26,139				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	芸術文化事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます	
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	市長公約	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実		
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	芸術文化事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
多くの市民が気軽に楽しく文化芸術にふれあう機会を創出し、市民の主体的、継続的な文化芸術活動の促進を図るもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内容
(1) 松本市芸術文化祭事業 地域に根ざした文化芸術を育むために、「松本市芸術文化祭実行委員会」へ委託し通年発表会や公演、展示会を開催するもの
(2) お城盆踊り 松本市の象徴、国宝松本城のもとで郷土愛を育み、市民と観光客等の交流を図りながら、松本らしさの文化を継承する盆踊りを開催するもの
2 28年度実績
(1) 松本市芸術文化祭参加者数 25,654人
(2) お城盆踊り参加者数 850人

<現状に対する認識>

幅広い市民による文化芸術活動の発表の場とともに、創造性や感性を育み、人生に生きがいや感動を与える機会になっている。 子どもや若年層の参加により、文化芸術の担い手育成の場となっている。 市、また各地域に伝承される文化芸術への理解を図る場となっている。
--

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	参加者数(人)				
目標値	25,700	25,700	25,700	25,700	25,700
実績値	26,504				
達成度	103.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,099				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,099				
② 人件費(千円)	2,592	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	7,691				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	町内公民館振興事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	町内公民館振興事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
町内の住民が親睦や交流、学習活動を通じて互いの思いを認め合いながら、町内の連帯意識を育てていく町内公民館活動の振興を図るもの	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 内容
身近な地域づくりの拠点となる町内公民館事業の振興を図るため、町内公民館活動のきっかけづくりとして委託料を交付

(1) 委託先 地区町内公民館長会会長

(2) 委託料 1町会につき

200世帯まで	30,000円
201～400世帯まで	31,000円
401世帯以上	32,000円

2 28年度実績
488町内公民館と委託契約を締結

＜現状に対する認識＞

最も身近な活動拠点として、住民自治を育み、地域力の向上と、町内の人間関係を良好に保ち、町内の活性化、地域の絆づくりの推進が図られている。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	契約締結町内公民館数				
目標値	488	488	488	488	488
実績値	488				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	14,865				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	14,865				
② 人件費(千円)	36,890	人工	人工	人工	人工
正規	26,915	3.5			
嘱託	9,975	3.5			
合計コスト①+②	51,755				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	食育事業
-------	------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	食育事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
自然に恵まれた松本市の特性を生かし、人と人とのつながりを大切にみんなで食を楽しみ、豊かな食習慣を育て、心と体の健やかな自立を目指すもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 内容	各地区公民館で、ライフステージに応じた地域での食育を推進するために各種講座や学習会を開催
(1) 講座等の例	親子料理教室、農業体験、地産地消を考える講座、郷土食を学ぶ講座、生活習慣予防の食生活を考える講座 他
(2) 連携団体等	食生活改善協議会、健康づくり推進委員会、農協、生産者 他
2 28年度実績	(1) 講座数 80講座(200回) (2) 延参加人数 3,969人

＜現状に対する認識＞

先人から育まれてきた地域の食の多様性や豊かな味覚や文化の香り溢れる伝統的な「食」を学び、伝承する気運が図られる。
食育に関わる団体等とのネットワークの構築が進み、地域の特性を生かした地域づくりの推進に繋がっている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	講座実施回数(回)				
目標値	150	150	150	150	150
実績値	200				
達成度	133.3%				
② 成果指標(指標名)	参加者数(人)				
目標値	3,561	3,596	3,631	3,667	3,703
実績値	3,696				
達成度	103.8%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	700				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	700				
② 人件費(千円)	36,890	人工	人工	人工	人工
正規	26,915	3.5			
嘱託	9,975	3.5			
合計コスト①+②	37,590				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公民館発足70周年記念事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます	
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	市長公約	主な取組み	○	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	公民館発足70周年記念事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本市公民館発足70周年を記念し、安心していきいきと暮らせる住みよい地域社会をつくるため、住民・行政・地縁団体・市民活動団体などが集い、自治力の必要性や高め方、協働のあり方などを考え、まちづくりについて学び合う事を目的に、「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」を開催するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会松本大会」概要
(1) 開催日 平成29年1月28日(土)、29日(日)
(2) 主催 松本市、松本市教育委員会、松本市地域づくり連絡協議会
(3) 主管 未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会松本大会実行委員会
(4) 内容 1日目 会場:まつもと市民芸術館 パネルディスカッション、全国リレートーク、歓迎レセプション 他 2日目 会場:中央公民館(Mウイング) 11のテーマ別分科会、全体会 他
2 28年度実績
(1) 大会参加者数 大会2日間の延べ参加人数 1,115人 (実参加人数 736人(市内 562人、県内 97人、県外 77人))

＜現状に対する認識＞

自治と協働のまちづくりについて、松本市及び全国各地の様々な実践事例から、自治力の必要性や高め方、協働のあり方について探り、参加者それぞれのこれからの実践に活かす場となった。また、大会の開催にあたり、市民、行政、大学、NPO等と連携を図る中で実行員会を組織し、開催までの過程そのものを学習の場とすることで、住民主体の地域課題解決に向けた人材育成やネットワークの構築が図られた。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	大会参加延べ人数				
目標値	1,000				
実績値	1,115				
達成度	111.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,089				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	1,089				
② 人件費(千円)	52,270	人工	人工	人工	人工
正規	42,295	5.5			
嘱託	9,975	3.5			
合計コスト①+②	53,359				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	公民館管理運営
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	公民館管理運営費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民生活文化の振興及び福祉の増進、また生涯学習の推進を目的に、中央公民館及び地区公民館の管理運営を行う。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
より多くの市民に公民館を利用していただけるよう備品更新計画に基づき計画的に備品を更新。併せて施設状況を調査・把握して計画的に修繕を行い、安心して利用できる学習環境を整備した。
1 備品等修繕・営繕工事の実施 修繕:空調機、消防設備等46件実施 工事:駐車場舗装改修、外灯新設等30件実施
2 業務委託 (1) 保守点検 自家用電気工作物保安管理業務、地区公民館電力デマンド監視業務、消防設備、エレベーター、自動ドア等保守点検業務等の委託 (2) 管理 中央公民館等の時間外管理業務、中央公民館ホール等の維持管理業務を委託 (3) 清掃:公民館内清掃業務の委託
3 備品購入 会議室机・椅子、プロジェクター、ホワイトボードなど利用者備品の更新

＜現状に対する認識＞
市民の学習要望は年々多様化しており、的確なニーズの把握とそれに応じた学習環境の整備について、研究・検討を進める必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	公民館延利用者数(前年度実績1%増)				
目標値	874,219	837,773	846,150	854,611	863,157
実績値	829,479				
達成度	94.9%				
② 成果指標(指標名)	公民館利用件数(前年度実績1%増)				
目標値	63,304	66,014	66,674	67,340	68,013
実績値	65,361				
達成度	103.2%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	260,595				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	260,595				
② 人件費(千円)	14,589	人工	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6			
嘱託	9,975	3.5			
合計コスト①+②	275,184				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区公民館整備事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます	
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実		
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備		
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地区公民館整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H24～H30
老朽化し耐震基準を満たしていない波田公民館を、支所機能縮小により空きスペースが生じた波田支所庁舎内の2階・3階に移転させることにより、安全な学習の場の提供と空き施設の有効活用を図るものです。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 H24～25 移転検討委員会の設置等、地元との協議を実施
2 H26 基本設計を実施
3 H27 実施設計を実施
4 H28 移転改修工事着工、改修工事全体の約6割が完了

＜現状に対する認識＞
現在まで、概ね計画通りの事業進捗である。平成29年度以降も同様の成果を目指す。 平成29年度は移転改修工事の継続分を実施し竣工のうえ、既存波田公民館の解体工事、備品の更新等を実施する。 平成30年度は、解体跡地において駐車場の整備工事を実施する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業進捗率(事業費ベース)				
目標値	47%	96%	100%		
実績値	47%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	159,440					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	159,440					
② 人件費(千円)	3,076	人工	人工	人工	人工	
正規	3,076	0.4				
嘱託	0					
合計コスト①+②	162,516					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地区公民館大規模改修事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます	
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実		
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備		
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地区公民館大規模改修事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H16～
地区公民館整備方針に基づき、大規模改修、備品更新、設備点検等を実施し、計画的な施設改修、設備更新等を行うもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 事業開始年次より、計画的な施設改修・設備更新等を実施し、地域活動、社会教育活動等における拠点としての公民館の機能維持、ユニバーサルデザイン導入その他に裨益している。
2 下記の3要素を事業の主目標として、実施各館で実現している。 (1) 施設の耐久性確保・機能維持 … 屋根、外壁、内装の改修等 (2) ユニバーサルデザイン導入 … エレベーター設置、トイレ改修等 (3) エコ改修 … 太陽光発電設備の設置、サッシ複層化等
3 平成28年度までの実績 (1) 大規模改修 7件を実施(入山辺、安曇、梓川、神林、鎌田地区、今井、内田) (2) 暖房器具更新 3件を実施 (3) 冷房設備保守点検 10件を実施
4 平成28年度の実績 (1) 大規模改修実施設計 1件(笹賀) (2) 大規模改修工事 1件(内田) (3) 暖房器具更新 1件(中山) (4) 冷房設備保守点検 4件(大手、中山、寿台、岡田) (5) その他 大規模改修に伴う備品更新、施設環境調査等

＜現状に対する認識＞
年度毎1件の大規模改修、複数件の備品更新・設備更新等を実施しており、今後も同水準以上を継続する必要がある。 実施計画47号より、松本市公共施設等総合管理計画に基づいて長寿命化計画を導入し、平成30年度より一部実施を予定している。以後は、建物長寿命化のための中規模改修、移行期に影響を被る施設の部分改修等を実施する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	地区公民館の大規模改修実施件数				
目標値	7	8	9	9	9
実績値	7				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	地区公民館の中規模改修実施件数				
目標値	0	0	3	4	6
実績値	0				
達成度	0.0%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	117,670				
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	117,670				
② 人件費(千円)	人工	4,076				
	正規	4,076	0.53			
	嘱託	0				
合計コスト①+②	121,746					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域学習テキスト作成事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	市長公約	主な取組み	○	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
地域の歴史・地理・文化・地域活動などを1冊にまとめた地域情報誌「地域学習テキスト」の作成・活用を通じ、住民一人ひとりが身近な地域に対する理解や関心を深め、郷土への愛着を育むとともに、地域活動への参加意識を高めて行くことで、「健康寿命延伸都市・松本」の創造に向けた住民主体のいきいきとした地域づくり活動を進めます。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 テキストの作成
(1) 作成方法
ア 地域関係諸団体、学校、企業等により、地区毎に編集委員会を組織
イ 地域性や活用目的を考慮し、デザインや内容は各地区独自に検討
ウ 各地区毎に住民の視点からアイデアを出し合い、活用方法を見据えながら作成
2 経過
(1) 平成26年度、先行モデル地区(白板地区、本郷地区、波田地区)でテキストを作成開始
(2) 平成27年度、先行モデル地区でテキスト発刊
(3) 平成28年度、先行モデル地区でテキストを活用し、効果を検証
3 今後の方針
先行モデル地区の検証結果を基に、作成地区の拡大を検討する

＜現状に対する認識＞

学校教諭等の地域研修や、小学生の地域学習の教材として活用が図られ、身近な地域を知る学習へと繋がっている。
転入者への配布や観光ガイドブックとして活用が図られ、地域情報の幅広い発信が図られている。
公共施設等に配置することで、地域への関心や理解が深まり、防災活動等への活用に繋がっている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	テキスト作成・活用地区数				
目標値	3				
実績値	3				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	0				
② 人件費(千円)	3,162	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	855	0.3			
合計コスト①+②	3,162				
前年度比	—				

中央図書館

館長 瀧澤 裕子

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	中央図書館	課CD	13230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	図書館資料整備事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	○学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	図書館資料整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
地域づくりや生涯学習の情報拠点としての役割を果たすため、地域資料や学習のための資料等、利用者が必要とする図書館資料を収集し提供するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業の実施内容	
(1)	図書資料の購入(中央図書館及び分館10館)
(2)	寄贈本、収集した地域資料等の装備、登録
(3)	蔵書の有効的利用を図るための分館からの移管や除籍
2 平成28年度の実績	
(1)	資料整備(雑誌、視聴覚資料等を含む)
	購入 50,303冊
	寄贈等 1,989冊
	年度末蔵書数 1,232,695冊
(2)	貸出冊数
	個人貸出 1,619,669冊
	団体貸出 62団体 25,605冊
【参考】登録者数関係	
1	登録者数 123,843人
2	うち、市内登録者数 109,359人(市民の登録率45.5%)
3	松本市人口 240,276人(平成29年4月1日現在)

＜現状に対する認識＞

蔵書冊数は、前年度の1,215,723冊から16,972冊(1.4%)増加。
 個人貸出数は、前年度の1,681,546冊から61,877冊(3.7%)減少。
 市民の登録者数は、前年度109,924人から565人(0.5%)減少。
 資料整備は順調に進んでいるものの、平成28年度は、これまで概ね順調に増加してきた個人貸出冊数及び市民の登録率が減少したことより更なる読書活動の推進が必要。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市民1人当たりの図書館蔵書数				
目標値	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6
実績値	5.1				
達成度	98.1%				
② 成果指標(指標名)	市民1人当たりの図書館貸出冊数				
目標値	7.1	7.1	7.2	7.3	7.4
実績値	6.7				
達成度	94.4%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	93,790				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	93,790				
② 人件費(千円)	28,635	人工	人工	人工	人工
正規	11,535	1.5			
嘱託	17,100	6			
合計コスト①+②	122,425				
前年度比	—				

文化財課

課長 大竹 永明

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	文化財の保存管理
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民にまもられてきた文化財を後世に伝えるため、文化財の指定・登録等を進め、整備や修理などの維持管理を行い、文化財所有者への支援を行うことで、文化財の保存と活用を推進するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 文化財の指定・登録
(1) 指定等のための調査
平成28年度は文化財審議委員会等において20件の文化財調査・検討を実施。
(2) 指定等件数
平成28年度市指定文化財件数 3件 (27年度15件)
" 国指定 " 1件 (27年度 0件)
平成29年3月31日現在 333件 (国77・県35・市221)
2 指定等文化財の保存管理
(1) 市所有指定等文化財の保存管理 ※1
平成28年度 槻井泉神社湧水とケヤキ保存整備、戸田家廟園内陣保存整備、等
平成29年度 戸田家廟園内陣保存整備、弘法山古墳環境整備、等
(2) 文化財保存活用事業への補助
平成28年度補助対象事業 17件
平成29年度補助対象事業 21件(予定)
※1 小笠原氏城館群史跡整備、白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画策定、上高地保存管理計画策定を除く。

＜現状に対する認識＞

1 豊かな自然と長い歴史から本市には多くの文化財が継承されてきたが、社会環境の変化で文化財を取り巻く環境は厳しさを増している。
2 文化財の適切・計画的な保存管理を行うとともに、更なる文化財指定と、所有者の文化財保護活動に対する支援を充実させる必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市内の指定・登録等文化財件数				
目標値	335	340	345	350	360
実績値	333				
達成度	99.4%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	29,169				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	29,169				
② 人件費(千円)	20,080	人工	人工	人工	人工
正規	19,225	2.5			
嘱託	855	0.3			
合計コスト①+②	49,249				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	埋蔵文化財保護事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	埋蔵文化財保護事業事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
文化財保護法に基づき、主として開発事業により破戒される遺跡の発掘調査を行い、記録保存するとともに、郷土の歴史・文化施設として活用し、郷土に誇りや愛着の持てるような地域づくりに貢献する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 開発事業に伴う窓口照会事業
開発に伴う照会に対し、遺跡に該当するかどうかを回答する。
(照会件数 H28年度1,951件、H27年度1,707件)
- 2 試掘調査事業
遺跡該当の開発事業に伴い、分布・範囲の確認を目的とする試掘調査と立会調査を実施する。
(H28年度 試掘件数 32件、立会件数 258件)
(H27年度 試掘件数 45件、立会件数 252件)
- 3 記録保存のための発掘調査事業
開発に伴う発掘調査を実施する。(受託事業、市単独事業)
また、遺構図類・遺物の整理作業を実施し、発掘調査報告書を刊行する。
発掘調査件数
H28年度 発掘9件(受託事業4、市単独5)、整理6件(受託3、市単3)
H27年度 発掘7件(受託事業3、市単独4)、整理4件(受託0、市単4)
- 4 普及公開事業
市民公開の機会として講座・現地見学会を開催する。
(H28年度、26件の講座・現地見学会を開催し、延参加者数は1,791人)
※1回あたり69人の参加があり、50人の目標設定値を38ポイント上回った。

＜現状に対する認識＞

市内には多くの遺跡がある。近年は大規模調査に加え、都市計画道路内環状北線に関わる発掘調査が本格化している。限られた経費と期間内で最大の成果を上げられるよう、調査技術の継承を含め、職員の資質向上を図る必要がある。成果を積極的に市民公開し、郷土の歴史・文化への関心が高まるよう努力が必要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	78,340				
国・県					
利用者負担金	60,600				
その他					
一般財源	17,740				
② 人件費(千円)	68,940	人工	人工	人工	人工
正規	46,140	6			
嘱託	22,800	8			
合計コスト①+②	147,280				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	殿村遺跡史跡整備事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	殿村遺跡史跡整備事業

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	22 ~ 30
現地保存が決まった殿村遺跡について、史跡指定を視野に将来的な整備・活用を図るもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

【事業内容】	
1	殿村遺跡発掘調査 計画的な範囲・内容確認調査による遺跡範囲(将来的な史跡範囲)の把握、調査報告書の毎年刊行
2	虚空蔵山麓の総合調査 周辺の寺院や信仰関連資料調査による一体の信仰空間の把握、虚空蔵山城跡ほか周辺の城館遺跡の把握、地質・植生等の景観調査
3	普及公開事業の推進 調査成果の公開と講座講演会の開催
【事業内容と進捗度(事業費ベース・累計)】	
H22	第2次調査ほか 22, 570千円
H23	第3次調査ほか 52, 120千円
H24	第4次調査ほか 74, 100千円
H25	第5次調査ほか 93, 110千円
H26	第6次調査ほか 101, 290千円
H27	第7次調査ほか 109, 880千円
H28	第8次調査ほか 136, 470千円
H29	第9次調査ほか 147, 650千円
H30	総括・報告 161, 450千円

＜現状に対する認識＞

計画どおり調査が進行し、平成29年度に現地調査が終了する。将来的な史跡指定に向けての条件整備が必要。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業全体の進捗率(事業費ベース、%)				
目標値	85	91	100		
実績値	85				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	26,587				
国・県	5,787				
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,800				
② 人件費(千円)	11,965	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	4,275	1.5			
合計コスト①+②	38,552				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	エリ穴遺跡遺物整理・報告書刊行事業
-------	-------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	エリ穴遺跡調査報告書刊行事業費

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	25 ~ 30
--------	---------

エリ穴遺跡の出土品の整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行する。出土品は重要文化財級の価値を有すると指摘されており、報告書刊行後は、まず県宝の指定を受け、続いて松本市として初となる出土品一括の国重文指定を目指す。指定により当市の文化資産としての価値を高め、市民の学習意欲を促進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業概要

(1)全体事業費 39,150千円(H25~H30)

(2)事業内容
エリ穴遺跡遺構図面類・出土遺物の整理作業。調査報告書の刊行(全4分冊)。

2 年次別事業

(1)遺構図面・出土遺物の整理
25~28年度(事業費計27,530千円、総事業費の70%)
遺構図面整理 700件
遺物整理・実測 土器5,000点、石器9,000点、土製品3,750点
化学分析・写真撮影 800点

(2)調査報告書編集・印刷・刊行
28年度 第1分冊(遺構編1)
29年度 第2・3分冊(遺構編2、遺物編1)
30年度 第4分冊(遺物編2) ※刊行

3 報告書刊行以降(平成31年度以降)

(1)県宝指定のための取組みを行い、将来は国重要文化財指定を目指す。
(2)将来的な保存・管理・活用方針を策定する。

<現状に対する認識>

計画どおり、平成28年度に調査報告書全4分冊のうち1冊を印刷した。整理作業が進み、遺構図・資料の点数が当初の見込みより増加することが判明したため、より効率的に取り組む必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	事業全体の進捗率(事業費ベース、千円)					
目標値	70	90	100			
実績値	70					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,440				
国・県	2,720				
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,720				
② 人件費(千円)	21,080	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	5,700	2			
合計コスト①+②	26,520				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	歴史文化基本構想策定事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標			
—	—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	歴史文化基本構想策定事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H25～H30
--------	---------

地域の文化財をその周辺環境まで含め総合的に保存・活用していくための計画を策定します。市内の文化財を指定の有無にかかわらず調査し、関連文化財群として把握することで、今後、歴史文化を生かしたまちづくりを進めていくためのマスタープランとなるものです。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 文化財悉皆調査及び関連文化財群の設定
 - 平成25年から市内35地区で未指定を含めた文化財調査を実施した。
 - 調査成果を先行の文化財調査を含めて整理し、平成27年度までに「関連文化財群」を設定した。
 - 平成28年度に、設定された関連文化財群を更に整理・統合した。
- 構想の策定(平成29年度)
 - 平成29年度に、設定委員会において、本構想の構成・内容を検討する。
 - 整理・統合した関連文化財群のテーマに基づき構想を策定する。
 - 策定にはパブリックコメントを実施し広く市民の意見を反映させる。
- 市民への周知、シンポジウム・報告会の開催
 - 平成28年度に市民向け報告会を開催した。
 - 平成29年度は4回目の市民向け報告会を開催し、関連文化財群紹介ハンドブックを作成する。

<現状に対する認識>

- 平成29年度の構想策定に向け順調に施策が進んでいる。
- 地域主体で調査等に取り組むことにより、文化財が地域のアイデンティティであることに気づき、文化財を地域で保護する気運が醸成されつつある。
- 構想が策定された以降は、市民への周知と、構想に基づく新たな文化財保存活用の方策を検討していく必要がある。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	838			
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	52			
② 人件費(千円)	7,690	人工		人工	
	7,690	1			
	0				
合計コスト①+②	8,580				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	小笠原氏城館群史跡整備事業
-------	---------------

会計名	一般会計
予算中事業名	小笠原氏城館群史跡整備事業費

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	25 ~ 30
井川城跡と林城跡(大城・小城)について、国史跡指定を進め「小笠原氏城跡」として一体的な保存・活用を図るもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

【事業内容】	
1	3城跡の国史跡指定に向けた調査・報告書刊行 井川城跡の発掘調査、林城跡(大城・小城)の縄張調査、文献史料調査、調査報告書の刊行
2	3城跡の国史跡指定手続き 指定範囲の確定、周知、土地所有者の同意取得、意見具申書の提出(答申～指定)
3	普及公開事業の推進 調査成果公開、史跡活用講座、指定記念事業、山城サミット協議会加盟
4	保存活用計画策定 史跡の現状把握と将来的な保存・管理・活用方針の策定
【事業の進捗状況と事業費累計】	
H25	指定に向けての調査開始 1 1, 160千円
H26	指定に向けての調査完了 3 1, 480千円
H27	指定対象の価値付け 3 7, 030千円
H28	具申～指定(井川城跡・林大城) 4 2, 640千円
H29	保存活用計画策定(1年目) 1 1 5, 470千円 追加指定に向けての調査(小城)
H30	保存活用計画策定(2年目・完了) 4 6 2, 920千円 追加指定(林小城)

＜現状に対する認識＞

計画どおり、平成28年度に2城跡が指定となったが、井川城跡は計画範囲の60%にとどまっているため、林小城とともに継続して追加指定に取り組む必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	用地取得を除く事業の進捗率(事業費ベース、%)				
目標値	67	76	100		
実績値	67				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	全体事業の進捗率(事業費ベース、%)				
目標値	9	25	100		
実績値	9				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,607				
国・県	1,225				
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,382				
② 人件費(千円)	11,965	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	4,275	1.5			
合計コスト①+②	17,572				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	白骨温泉噴湯丘等保存管理事業
-------	----------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	白骨温泉噴湯丘等保存管理事業費

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	27 ~ 30
国特別天然記念物である「白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石」の保存と適切な活用を図るため、現状を把握し、保存活用計画を策定するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 実施済みのもの
 - 現状把握
 - ア 詳細地形測量(27年度)
 - イ 噴湯丘と球状石灰石 分布調査(28年度)
 - ウ 環境調査(植物:28年度)
 - エ 文献調査(28年度)
- 今後実施するもの(29~30年度)
 - 現状把握(継続)
 - ア 噴湯丘と球状石灰石調査(鉱物学的調査他)
 - イ 環境調査(動物、植物)
 - ウ 文献調査
 - 指定範囲の見直し

調査結果に基づき指定範囲を見直し、変更に向けて文化庁に意見具申を行う。
 - 保存活用計画の策定

現状変更基準や活用の方向性などについて、関係者間の合意形成を図りながら保存活用計画を策定する。
 - 文化財的な価値の周知

計画策定後、市民や観光客に向けて文化財的な価値や見どころを広報するため、パンフレット等を制作する。

＜現状に対する認識＞

- 大正11年(1922)の指定以降、林道建設等により指定地が大きく改変されているため、分布調査等により現状を把握する必要がある。
- 文化財としての価値がうまく発信できておらず、地元住民もガイドできない状況のため、価値を再評価したうえで広く発信できるよう方策を検討する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,406				
国・県	3,924				
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,482				
② 人件費(千円)	5383	人工	人工	人工	人工
正規	5383	0.7			
嘱託	0				
合計コスト①+②	12,789				
前年度比	—				

松本城管理事務所

所長 中嶋 岳大

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国庫補助南・西外堀復元事業①
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国庫補助南・西外堀復元事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H23 ~ H33

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 松本城南・西外堀復元事業
 (1) 用地取得及び条件整備
 事業用地の取得(平成28年度までの事業用地取得率 43%)

<現状に対する認識>

平成33年度復元完了※(最短事業計画であり、相手方との交渉等により数値が変動する場合があります。)

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
目標値	33	46	64	82	90
実績値	33				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	141,787				
国・県	113,429				
利用者負担金					
その他(起債・松本城施設整備基金)	28,358				
一般財源					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	144,094				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	単独南・西外堀復元事業②
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独南・西外堀復元事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H23 ~ H33
「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 松本城南・西外堀復元事業 土壌汚染対策法に基づく、二の丸土壌汚染調査 史跡追加指定意見具申

＜現状に対する認識＞

平成33年度復元完了※（最短事業計画であり、相手方との交渉等により数値が変動する場合がある。）

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業の進捗率				
目標値	33	46	64	82	90
実績値	33				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	751				
国・県					
利用者負担金					
その他(松本城施設整備基金)	751				
一般財源					
② 人件費(千円)	2307	人工	人工	人工	人工
正規	2307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	3,058				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	単独南・西外堀復元事業③
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み		〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独南・西外堀復元事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H23 ~ H33

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本城南・西外堀復元事業
補償算定等委託業務

買収後事業用地管理業務

代替地購入及び整備業務

<現状に対する認識>

平成33年度復元完了※(最短事業計画であり、相手方との交渉等により数値が変動する場合がある。)

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	文化遺産としての価値を高めるとともに、天守の眺望の改善と魅力ある景観を創出する。				
目標値	33	46	64	82	90
実績値	33				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	53,210				
国・県					
利用者負担金					
その他	53,210				
一般財源					
② 人件費(千円)	0	人工	人工	人工	人工
正規	0				
嘱託	0				
合計コスト①+②	53,210				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	事務管理
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	事務管理費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
文化財の保全管理を図りつつ、観光資源としての観覧者の受け入れを行い、国宝としての適正な管理運営を実施する。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 経常の松本城管理運営経費 松本城経費、借上料、備品購入、消費税の支払
2 松本城券売業務 松本城入場券の販売及び入場者数の把握(有料、無料) 各種割引券、団体からの観覧料領収書の対応及び各旅行会社からのクーポン処理
3 各種保守点検、管理委託業務 松本城の各種保守点検、市営開智駐車場、松本城宿直警備、松本城公園、本丸庭園トイレ清掃、史跡松本城南・西外堀警備等の業務委託

<現状に対する認識>
市営開智駐車場管理、各種保守点検等の締結を行い松本城全体の維持管理を実施した。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

<指標の達成状況>	総合評価	A
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数	
目標値	900,000	970,000
実績値	990,373	
達成度	110.0%	
② 成果指標(指標名)		
目標値		
実績値		
達成度		

<コスト一覧>					
① 事業費(千円)	106,201				
国・県					
利用者負担金					
その他(一般繰入金)	9,883				
一般財源(松本城特会)	96,318				
② 人件費(千円)	24,572	人工	人工	人工	人工
正規	14,150	1.84			
嘱託	10,118	3.55			
研究専門員	305	0.1			
合計コスト①+②	130,773				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	天守管理
-------	------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	天守管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
国宝松本城天守の公開及び保全管理		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 天守観覧用下足袋購入
天守を観覧する際に靴を入れる袋の購入。
 - 天守誘導・案内業務委託
松本城天守内清掃、観覧者の誘導、案内、巡回管理を実施。
 - 天守屋根清掃業務
天守他4棟(乾小天守、渡櫓、辰巳附櫓、月見櫓)の屋根、壁及び石垣に付着する鳩糞の除去及び水洗い業務を実施。
 - 天守特別清掃
天守内の高所部分等、通常では困難な箇所の清掃を実施。

＜現状に対する認識＞

多くの市民、観光客が訪れる国宝の天守としての美景を保つことができた。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
目標値	900,000	970,000	970,000	970,000	970,000
実績値	990,373				
達成度	110.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	19,724					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源(松本城特会)	19,724					
② 人件費(千円)	1,669	人工	人工	人工	人工	
正規	1,384	0.18				
嘱託	285	0.1				
合計コスト①+②	21,393					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	庭園・公園管理
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	庭園・公園管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本城本丸庭園、松本城公園等の管理		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 松本城公園・本丸庭園清掃業務委託 松本城公園・本丸庭園の清掃、樹木管理を実施し、環境美化、景観保持に努める。
2 松本城公園・本丸庭園冬囲い業務委託 松本城の冬の風物詩となっている冬囲い及び正月しめ縄の製作を委託し、樹木の保護及び文化の伝承を図る。
3 松本城公園・本丸庭園樹木等総合管理業務委託 松本城公園・本丸庭園の樹木、草木、芝生等を総合的に保全管理を実施する。

＜現状に対する認識＞
多くの市民、観光客が訪れる松本城本丸庭園、松本城公園の環境美化、景観の保持ができた。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
目標値	900,000	970,000	970,000	970,000	970,000
実績値	990,373				
達成度	110.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	21,316					
国・県						
利用者負担金						
その他(一般繰入金)	10,608					
一般財源(松本城特会)	10,708					
② 人件費(千円)	3,361	人工	人工	人工	人工	
正規	3,076	0.4				
嘱託	285	0.1				
合計コスト①+②	24,677					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	観光宣伝
-------	------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	観光宣伝費

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます	
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	○市立博物館の移転、歴史資産の保存継承		
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標			
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本城を誘客のためのパンフレット等の作成、松本城おもてなし隊の活動、国宝松本城ホームページの運用により観光客の増加に努める。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 松本城を誘客のためのパンフレット等の作成し、旅行会社等に配布
2 松本城おもてなし隊の活動
3 国宝松本城ホームページの運用・保守

＜現状に対する認識＞
松本城おもてなし隊、国宝松本城ホームページ等を運用することにより、松本城を基点とした回遊性創出のきっかけに努めた。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
目標値	900,000	970,000	970,000	970,000	970,000
実績値	990,373				
達成度	110.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	19,899					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源(松本城特会)	19,899					
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工	
正規	1,538	0.2				
嘱託	0	0				
合計コスト①+②	21,437					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	施設整備事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	施設整備事業費

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本城天守、史跡松本城及び関連施設の適切な維持管理による、松本城の歴史的景観の維持。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 天守他塗替え委託 天守、太鼓門、黒門の漆部分の塗替え委託を実施。
2 松本城施設の修繕、営繕工事を実施。
3 松本城施設整備基金への積立。

＜現状に対する認識＞
松本城施設の保全を目的に、修繕、業務委託、営繕工事を実施した。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
目標値	900,000	970,000	970,000	970,000	970,000
実績値	990,373				
達成度	110.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	148,419					
国・県						
利用者負担金						
その他(一般繰入金)	535					
一般財源(松本城特会)	147,884					
② 人件費(千円)	6,338	人工	人工	人工	人工	
正規	5,768	0.75				
嘱託	570	0.2				
合計コスト①+②	154,757					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	堀浄化対策事業
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	堀浄化対策事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本城の堀(内堀、外堀、総堀)の堆積物除去及び水質浄化を実施し、快適な公園環境・見学環境の維持向上を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 松本城史跡内堀等清掃業務委託 史跡内の堀の清掃を定期的実施する。
2 松本城堀水質改善(EM菌散布)業務委託 松本城史跡内の堀における水質改善を目的とし、EM菌(有用微生物群)活性液を培養し堀への散布を実施する。

＜現状に対する認識＞
堀の堆積物除去、EM菌の散布等により堀の浄化を実施したため、水質の更なる悪化が認められなかった。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
目標値	900,000	970,000	970,000	970,000	970,000
実績値	990,373				
達成度	110.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	6,660				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	6,660				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	8,967				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	危機管理防災対応事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 主な取組み	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	危機管理防災対応事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
諸災害の発生に備え観光客や市民の安全を確保するとともに、災害時の文化財松本城の被害軽減に取り組むもの。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 保守点検 防災ネットワーク保守点検、電気設備点検
2 松本城避難誘導計画策定 平成29年度策定予定の避難誘導計画作成のために必要な基礎調査を実施。

<現状に対する認識>

機器の保守により、非常時でも機能するようになった。 避難誘導計画に必要な調査が実施できた。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	点検の実施回数					
目標値	1	1	1	1	1	
実績値	1					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,589				
国・県					
利用者負担金					
その他	1,589				
一般財源(松本城特会)					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	3,896				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国庫補助松本城史跡整備事業
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます	
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承		
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標			
—	—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	国庫補助松本城史跡整備事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H27 ~ H38
史跡松本城の保護と安全性の確保を図るため、崩落のおそれのある石垣を修理するもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 史跡松本城(本丸北外堀南面石垣)保存整備事業実施設計業務委託 平成29年度に工事着手する北裏門東側門台石垣部分の工事実施設計を作成。
2 史跡松本城(本丸北外堀南面石垣)保存整備事業測量業務委託 平成27年度の測量に基づき、立面図・平面図・断面図を作成。
3 本丸北裏門東側門台試掘調査 平成29年度工事予定の北裏門東側門台石垣について、遺構確認の試掘を実施。

<現状に対する認識>
文化庁及び有識者の助言を得て、国庫補助を取り込みながら、適切に事業を進めます。 平成28年度に実施した修理工事実施設計に基づき、北裏門東側門台の石垣修理工事を、国庫補助金を取り込みながら実施します。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	危険度Aの石垣修理の進捗率				
目標値	20	21	23	24	26
実績値	20				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	6,850					
国・県	3,629					
利用者負担金						
その他						
一般財源(松本城特会)	3,221					
② 人件費(千円)	6,152	人工	人工	人工	人工	
正規	6,152	0.8				
嘱託	0					
合計コスト①+②	13,002					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	松本城歴史資料保存事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	松本城歴史資料保存事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H～
--------	----

松本城や松本藩関連の歴史資料を収集・保存し、今後の調査研究に活用するため

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 資料収集
徳川林政史研究所所蔵の松本藩主戸田家に関する古文書の複写を入手し、調査研究を実施。
- 日常管理
古文書を中性紙封筒に収納し、劣化防止を図る。

＜現状に対する認識＞

松本城や松本藩に関する歴史資料の収集及び保存を行い、その調査研究を着実に進める必要がある。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
① 成果指標(指標名)	徳川林政史研究所所蔵の資料複写依頼回数							
	目標値	1	1	1	1	1		
	実績値	1						
	達成度	100.0%						
② 成果指標(指標名)								
	目標値							
	実績値							
	達成度							

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	619				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源(松本城特会)	619			
② 人件費(千円)	10,847	人工	人工	人工	人工
	正規	2,307	0.3		
	嘱託	0			
	研究専門員	8,540	2.8		
合計コスト①+②	11,466				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	単独松本城史跡整備事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 主な取組み	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		○市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	単独松本城史跡整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H14 ~
史跡松本城の保護と安全性の確保を図るため、定期的に石垣の動態を観測し、崩落の危険性を把握するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 石垣動態観測業務委託事業 平成25年に定めた観測点について、年1回、測量を行い、動態状況を把握。

＜現状に対する認識＞
石垣の整備事業完了までは、今後も動態観測を継続する必要がある。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	年間の動態観測実施回数				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	399					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源(松本城特会)	399					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	2,706					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	松本城学びと研究事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	松本城学びと研究事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
市民に松本城を身近に感じていただく	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 松本城で学びの場を提供する。
 - ・夏休み子ども勉強会
 - ・国宝松本城天守床磨き
- 展示品管理
 - ・松本城に寄贈された141挺の火縄銃及び洋式銃等の清掃を行う。

＜現状に対する認識＞

夏休み子ども勉強会、国宝松本城天守床磨きが予定どおり実施できた。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	国宝松本城天守床磨き開催回数					
	目標値	13	13	13	13	13
	実績値	13				
	達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	525				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源(松本城特会)	525			
② 人件費(千円)	535.7	人工	人工	人工	人工
	正規	230.7	0.03		
	嘱託	0			
	研究専門員	305	0.1		
合計コスト①+②	1,061				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	国庫補助松本城天守耐震診断事業
-------	-----------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	松本城特別会計
予算中事業名	国庫補助松本城天守耐震診断事業費

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます	
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	市長公約	主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標			
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H26 ~ H28
松本城天守の地震時の安全性を確保するため文化庁の指針に基づき、国宝松本城天守の耐震診断を行い、必要な場合は診断結果を基に構造補強検討案を策定するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 国宝松本城天守耐震診断業務委託 平成26~28年度の3カ年事業の最終年として、土壁試験、構造診断を実施、耐震補強診断結果及び構造補強検討案の報告書作成

＜現状に対する認識＞
耐震診断時に作成した構造補強検討案を基に、耐震対策基本計画及び避難誘導計画の策定や耐震対策工事の着工を含め、早急に耐震対策に取り組みます。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	28年度完了に向けた事業進捗率				
目標値	100				
実績値	100				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,184					
国・県	3,524					
利用者負担金						
その他						
一般財源(松本城特会)	1,660					
② 人件費(千円)	6,152	人工	人工	人工	人工	
正規	6,152	0.8				
嘱託	0					
合計コスト①+②	11,336					
前年度比	—					

美術館

館長 小川 稔

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	美術館管理運営
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	美術館管理運営費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえた管理運営を実施する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 指定管理内容 美術館の管理運営部門について、5年間(29～34年度)の特命指定として(一財)松本市芸術文化振興財団へ委託した。
2 委託内容 (1)施設運営に関する業務(受付・案内・監視業務、観覧料・使用料の徴収、ミュージアムショップの運営等) (2)施設管理に関する業務(警備、施設・設備の保守維持管理、小規模修繕) (3)経営管理業務 (4)自主事業(施設の利用促進のための事業)

＜現状に対する認識＞

貸館部門については、年々使用が増加しているなか、利用調整会議を実施し、県展規模の展覧会、周年記念事業等、慶事に伴う展覧会等を優先に、多くの団体に利用できるよう調整をする。ミュージアムショップについては、草間彌生人気の影響もあり、売上げが増加しており、グッズの充実を図りながら魅力あるショップづくりを進める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	ギャラリー等の利用料収入(千円)				
目標値	7,100	7,500			
実績値	7,480				
達成度	105.4%				
② 成果指標(指標名)	ミュージアムショップ売払収入(千円)				
目標値	34,080	42,600			
実績値	48,550				
達成度	142.5%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	161,560				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	161,560				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	169,250				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	美術館事業(教育普及事業)
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

子供から大人まで年代に向けた学習プログラムを提供し、将来の美術の担い手となる人材育成事業のほか、学校連携事業を展開する。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 各種ワークショップ、講座の開催
各世代を対象とした各種ワークショップや講座、企画展に合わせた講演会、ギャラリートーク等のほか、展覧会や美術の魅力伝えるための「館長講座」や「学芸講座」を開催。
- 「未来の学都を支える子ども育成事業」
美術館所蔵作品を使った鑑賞教育教材「アートカード」を、学校への出張講座や見学対応などで使用し、子どもたちが美術に親しむ機会を創出する教材として活用した。
- 教育普及事業の開催状況
講座数164 参加人数7,883人

【分類】	【講座数】	【参加人数】
おとな対象	17	634人
子ども対象	3	59人
子ども～おとな	132	7,080人
親子対象	4	66人
学校連携	14	44人

＜現状に対する認識＞

学校との連携をさらに深め、美術館を活用した美術教育の充実にむけて、学習プログラム案を作成し、子どもたちが美術に触れる機会、親しむ機会の充実を図る。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	講座数					
	目標値	20				
	実績値	164				
	達成度	820.0%				
② 成果指標(指標名)	講座等参加人数					
	目標値	1,900				
	実績値	7,883				
	達成度	414.9%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,330				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	1,330			
② 人件費(千円)	10,540	人工	人工	人工	人工
	正規	7,690	1		
	嘱託	2,850	1		
合計コスト①+②	11,870				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	美術館事業(草間顕彰事業)
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取り組み				
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

草間彌生の顕彰推進、作品展示公開方法、広報の充実によって広くPRする。作品制作依頼、作品調査・研究、委託先の有力な候補として印象付け、専門の展示収蔵施設確保の可能性も含め、市全体の取り組みについて検討を進める。

- <事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
- 特集展示の開催
27年7月から開催の「草間彌生特集展示」を10月まで会期を延長して開催。
 - パンフレットの作成
4ヶ国語の草間彌生紹介パンフレットを増刷し、来館者のほか、観光案内所や希望する宿泊施設等へ配布した。
増刷部数:日本語版 40,000部
 - 特別展開催に向けた準備
24年夏の特別展で美術館南側ガラス面に期間限定で公開し好評であった草間作品《松本から未来へ》を耐久性の高い素材で新たに設置した。
 - 草間氏との関係強化
学芸員が草間スタジオ(東京)に赴き、草間氏が所有する作品・資料の調査・研究を行った。

<現状に対する認識>

28年11月に文化勲章を受章、また、国立新美術館での展覧会を開催し、50万人を越える来館者となり、国内外の評価が更に高まるなか、29年度は開館15周年記念事業として草間彌生展を企画する。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	草間特別展観覧者数				
目標値	50,000				
実績値	69,943				
達成度	139.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,570				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,570				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	13,260				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	美術館事業(展覧会事業)
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	市長公約	主な取り組み			
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進		5つの重点目標			
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

国内外の優れた作品展や郷土に密着したテーマの展覧会を企画し、多くの市民が気軽に美術に親しむ機会・鑑賞の場の創出を目的に開催する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 企画・コレクション展の開催
 年4回の企画展は、春は工芸の五月関連企画、夏は山の日制定を記念する企画、秋は地元ゆかりの作家を顕彰する企画、冬は隔年開催の70歳以上の公募展を開催。また、コレクション展(常設展)として、草間彌生の特集展示と平成28年度新たに収集した作品のお披露目展ほか収蔵品展を開催。

2 企画展の内容
 (1)「バーナード・リーチ展」(工芸の五月関連企画)
 (2)「遙かなる山ー発見された風景美」(国民の休日「山の日」制定記念企画)
 (3)「飯沼英樹 闘ウ女神たち」(地元出身作家を顕彰する企画)
 (4)「第7回老いるほど若くなる」(70歳以上の公募による美術展)

<現状に対する認識>

地元出身作家等の顕彰や山の日制定を記念した展覧会を開催したことは、公立美術館として意義ある展覧会であったが、集客面から見ると目標を下回る結果となった。より多くの方に鑑賞いただけるよう広報に努めるとともに、メディアとの共同開催による広報・宣伝の強化等、開催方法について検討する。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	企画展の観覧者数					
	目標値	44,000				
	実績値	38,240				
	達成度	86.9%				
② 成果指標(指標名)	観覧料収入(千円)					
	目標値	30,100				
	実績値	36,430				
	達成度	121.0%				

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	64,090				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	64,090			
② 人件費(千円)	30,760	人工	人工	人工	人工
	正規	30,760	4		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	94,850				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	アカデミア館管理運営
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	アカデミア館管理運営費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、市民の鑑賞・表現・学習・交流の場として新たな美術を育む創造の母体となることを目指すもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 指定管理内容	アカデミア館の管理運営について、5年間(24～28年度)の特命指定の最終年として梓川ふるさと振興公社に委託した。
2 委託内容	(1) 施設の事業に関する業務(展示、展覧会、資料の収集・保管・貸出) (2) 施設運営に関する業務(開館業務、観覧料・使用料の徴収、施設の貸出) (3) 施設管理に関する業務(警備、施設・設備の保守維持管理、清掃等) (4) 経営管理業務 (5) 自主事業(施設の利用促進のための事業)
3 展覧会等の開催	(1) 主催展覧会 梓川賞展ほか8展 (2) その他展覧会 第21回光彩展ほか19展 (3) イベント等 平林ピアノ教室発表会ほか9事業
4 その他	指定管理者である梓川ふるさと振興公社が28年度末で解散に伴い、29年度以降は、松本市美術館と一体的管理を基本路線として、松本市芸術文化振興財団へ特命指定する。

＜現状に対する認識＞

29年度から松本市芸術文化振興財団に指定管理者を変更し、芸文財団と一体的な管理を進める。同じく芸文財団が指定管理をしている、美術館、音楽文化ホール、波田文化センターとの連携を深め、アウトリーチ事業などの相互交流を深めていく。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	ギャラリー等の利用料収入(千円)				
目標値	1,150				
実績値	1,080				
達成度	93.9%				
② 成果指標(指標名)	観覧料収入(千円)				
目標値	90				
実績値	80				
達成度	88.9%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	15,750				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	15,750				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	23,440				
前年度比	—				

博物館

館長 木下 守

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	博物館事業
-------	-------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	博物館事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民の歴史・文化資産に対する理解を深めるため、松本市立博物館本館と分館14館で資料の収集・保管、調査研究、展示、講座・講演会等を実施するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 博物館資料の収集・保管業務
 - 収集資料・図書の資料整理・登録(全館)
 - 各館収集資料、寄贈資料を博物館資料管理システムに登録するもの
 - 各館所蔵図書、新規寄贈・交換図書を同上システムに登録するもの
 - 保存処理業務
 - 掛軸・額を表装、動物剥製の修復 等
- 常設展、特別展・企画展の実施
 - 本館
 - 資料保存のための常設展示替えと、小規模展覧会を開催
 - 分館
 - 各施設の特徴を活かした特別展・企画展を開催
- 講座・講演会の実施
 - 本館
 - 学都松本「勸館楽学」対談 年4回 (参加者 63名)
 - 第7回 復活 話をきく会 年1回 (参加者 16名)
 - 分館
 - 窪田空穂記念館の短歌講座、四賀化石館の化石教室など、10分館で各施設の特徴を活かした講座・講演会を開催
- 各種印刷物の刊行
 - 館ニュース「あなたと博物館」(年6回発行) 各5,000部
 - 『松本の子どもの短歌2016』 発行7,500部 など

＜現状に対する認識＞

松本まるごと博物館として、本館・分館で多様な市民ニーズに答える展覧会・講座・講演会を今後も実施していくとともに、未登録の博物館資料が多くあるため、資料整理・登録作業の推進が課題である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	観覧者数(分館13館)				
目標値(人)	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000
実績値(人)	227,769				
達成度	99.0%				
② 成果指標(指標名)	資料・図書登録				
目標値	52%	53%	54%	55%	56%
実績値	51%				
達成度	98.1%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	34,464				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	34,464				
② 人件費(千円)	63,272	人工	人工	人工	人工
正規	40,757	5.3			
嘱託	22,515	7.9			
合計コスト①+②	97,736				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	まる博構想推進事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	まる博構想推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
平成12年度に策定した松本まるごと博物館構想に基づき、博物館が市民協働や博物館連携事業を実施することにより、学びを通じた「ひとつづくり」「まちづくり」を推進する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- まる博deウォーキング事業
博物館と市民学芸員の会が協働して、松本城下町の文化遺産を巡るウォーキングマップを作成。
成果品「まる博deウォーキングマップ 城下町編」
・サイズ:A4、8頁 作成部数:2,000部
- 松本藩領ミュージアム事業
平成26年度から実施している中信地区を対象範囲とする広域連携事業として、講演会を開催。
(1) 事業名 松本藩領ミュージアム講演会
(2) 内容 「筑北地域の餅なし正月」山崎洋文氏(筑北村民俗研究者)
(3) 実施日 平成29年3月18日(土)
(4) 参加者 26名
- 博物館連携事業
(1) 「日本造園学会全国大会 学生公開アイデアコンペ展」
ア 会期 平成28年6月6日(月)～6月26日(日)
イ 連携先 日本造園学会
ウ 入館者数 9,114人
(2) 「松平直政没後350年パネル展－松本と松江をつなぐお殿様」
ア 会期 平成28年10月1日(土)から11月27日(日)
イ 連携先 島根県松江歴史館
ウ 入館者数 28,927人

＜現状に対する認識＞

市民が気軽に参加したり、市域の文化資産を身近に感じられるような学習支援事業が少なく、市民の学習要望に応えられていないため、引き続き市民協働事業を推進していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	観覧者数(分館13館)				
目標値(人)	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000
実績値(人)	227,769				
達成度	99.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	305				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	305				
② 人件費(千円)	11,992	人工	人工	人工	人工
正規	9,997	1.3			
嘱託	1,995	0.7			
合計コスト①+②	12,297				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	博物館特別展開催事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	博物館特別展開催事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
平成12年度に策定した松本まるごと博物館構想に基づいて、特別展を開催することにより、市民に学習機会を提供するとともに、郷土の歴史や文化資産の保護に対する市民の関心を高めて「ひとづくり」「まちづくり」に貢献するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
市立博物館(本館)で、以下の2展覧会を開催。
1 第1回「山の日」記念全国大会関連行事「山岳画家・武井真澄 先行公開展」
(1) 会期 平成28年7月15日～9月4日
(2) 内容 松本中学校・東京美術学校に学び、松本中学校図画教師として教鞭をとった後、 上京し山岳画家として活躍した武井真澄(1875～1957)の遺族から寄贈される予定の貴重な山岳絵画資料の一部を先行公開した。
(3) 入館者数 33,237人
2 第6回戦争と平和展
(1) 会期 平成28年8月6日～9月25日
(2) 内容 松本市平和都市宣言30周年記念事業として、博物館が開館以来110年間にわたって収集してきた戦争関係資料と、松本市の平和推進事業を紹介した。
(3) 入館者数 29,913人

＜現状に対する認識＞
現状で目標値を達成している。今後も市民の多様な学習ニーズにこたえるため様々な特別展を開催していくが、基幹博物館移転に向けて博物館資料の整理・登録業務に比重をかける必要性があり、特別展の開催数・規模を見直す必要がある。また、平成34年度開館予定の基幹博物館における特別展事業の在り方も検討していく必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	特別展期間中観覧者				
目標値(人)	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
実績値(人)	42,534				
達成度	141.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,720				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,720				
② 人件費(千円)	12,761	人工	人工	人工	人工
正規	10,766	1.4			
嘱託	1,995	0.7			
合計コスト①+②	17,481				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	松本市基幹博物館整備事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	〇市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	基幹博物館整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28～H34
松本城の史跡内に位置し、開館から50年が経過した現博物館を、城下町の再生を進めるうえで極めて重要なエリアとなる松本城三の丸地区の市営大手門駐車場敷地に、松本まるごと博物館の中核施設(基幹博物館)として移転新築するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 施設構想及び建設計画の策定 施設整備の基本的な考え方や施設の概要などを定めるため、施設構想策定委員会を5回開催して、施設構想及び建設計画を策定した。
2 市民ワークショップの開催 施設構想の策定過程において、市民参画の機会を図るため、市民ワークショップを2回開催した。
3 設計者の選定 公募型プロポーザル方式により建築と展示の設計者を一体で募集し、専門家等で組織する「設計プロポーザル選考委員会」において、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、審査・選定することとした。

＜現状に対する認識＞
1 現博物館は国史跡松本城内に位置することから、松本城の文化的価値をより高めるためにも、現地からの移転が必要である。
2 開館から50年が経過していることから、施設や設備の老朽化・狭隘化が著しく、市民が学ぶスペースや収蔵庫等も不足している。また、公共施設としてユニバーサルデザインに対応した施設となっていないことから、早期の移転新築が急務である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松本市立博物館本館の単独券販売枚数				
目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
実績値	9,325				
達成度	93.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	9,570					
国・県						
地方債						
その他						
一般財源	9,570					
② 人件費(千円)	13,390	人工	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1				
嘱託	5,700	2				
合計コスト①+②	22,960					
前年度比	—					